京城日報

廿九日夕刊

定價 本紙 一部金二錢五厘 一ヶ月金六拾五錢 三ヶ月金壹圓九拾五錢

廣告料 五號活字一行金七拾五錢 ▲特別欄 ▲三號活字の一行は二號活字同樣 ▲六號活字同樣の事

發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之介
京城太平通二丁目
發行所 合資會社 京城日報社
電話 編輯 ／ 營業

袁總統依然大勢を制す

支那政局の回轉を策せる段祺瑞、馮國璋及び南方總司令岑春煊等孰れも振はず袁總統依然として支那の大勢を制するに至り一般に袁總統の辣腕を承認せり（東京電報）

支那政局とタイムス

倫敦タイムス紙は現下の支那政局に論及して混亂せる時局を拾收し治平を期するは袁總統の留任に如くものなしと結論せり（東京電報）

袁總統重態說傳はる

北京來電により又復袁總統の病狀重態說傳はれり（東京電報）

干涉必要時期切迫か

南京會議が獨立各省の拒絕により全く無意義に終れる結果再び混沌たる時局を釀成し到る處無秩序の狀態に陷りつゝあるを以て愈々外國の干涉を必要とする時期切迫せりと一般に觀測せられ居れり（東京電報）

兌換停止一部の解除

支那政府は二十九日より兌換停止命令の一部を解除せり（東京電報）

米國媾和運動開始

米國政府は獨墺及び聯合國側に對し媾和斡旋運動を開始せりと（東京電報）

愛蘭の一部尚ほ不穩

英國政府は左の宣言を爲せり曰く愛蘭の或る部分は尚ほ不穩にして異圖を抱く者あるを以て更に通告を爲す迄は引續き戒嚴令を全愛蘭に布くべしと（倫敦電報）

ヴ要塞猛擊稍緩む

巴里來電に曰くヴエルダンに對する獨軍の攻擊は稍猛烈の度を減じ佛軍は遲々たれども確實に再び進出を開始し若干陣地を奪還せり二十六日午後發表の公報に曰くアボークルモルトム地帶には今尚ほ砲戰極めて激烈に行はれ居れり獨軍のモルトム攻擊は我集中砲火の爲めに全く挫折せしめられたり佛軍はドーモン森林とチアウモン農園內に於て逆襲に出で〻陣地を奪取し又夜間擲彈攻擊を以てチヤウモン農園の北方に進出し捕虜若干名を得たり（倫敦電報）

獨逸提督の更迭

シエール中將はポール提督に代り獨逸大洋艦隊司令官に任命さる（紐育電報）

工場法施行延期

樞府に於て行惱みし工場法實施期は二箇月間延期に決せり勅令改廢をなすに至れる責任の所在に關しては當然政府當局に於て負ふべきものなりとの議論有力なり（東京電報）

タゴール著神

印度の詩聖タゴール氏二十九日神戸に著す（大阪電報）

總督晩餐饗應

寺內總督は二十七日午後七時より物集博士を官邸に招き晩餐の饗應ありたるが席上博士は日鮮古代の關係に就き詳述せり

寺內總督饗應

寺內總督は二十九日午後四時三十分より戰史旅行團一行を官邸に招き立食の饗應ありたり

李王殿下饗宴

李王殿下は二十九日入京せる戰史旅行團一行を同日正午昌德宮に招き立食の饗應ありたり

司法官會同終了

協議事項縷陳の爲め二日間延期されたる司法官會同は二十七日を以て終了を告げたるより各司法官は二十九日關係各部局に就き各自の打合を爲し隨時退廳せり

司法官歡迎宴

司法官會議列席の爲め入京中なる裁判所、檢事局各司法官及び監獄監督官等の爲め總督府司法部幹部在京城裁判所有志高等官發起となり二十九日午後七時より花月に於て饗宴を開き主客併せて百有餘名の出席ある筈なれば定めし盛會なる可し

典獄會議（第一日）

典獄會議第一日は二十九日午前九時より總督府第二會議室に開會、總督府側よりは寺內總督、山縣政務總監以下關係各部長官、局長、課長等出席し、國分司法部長官統裁の下に直ちに日程に入り午前は諮問、午後は協議ありて四時散會したり

典獄會議日程

總督府にては鮮內各地の典獄を召集し二十九日より六月三日まで六日間總督府第二會議室に於て典獄會議を開催す、其日程左の如し

二十九日　午前諮問事項　午後協議事項
三十日　午前諮問事項　午後協議事項
三十一日　午前提出意見　午後協議事項
六月一日　午前協議事項　午後同
二日　午前協議事項　午後同上
三日　訓示、指示並に提出意見に對する內示

會議は毎日午前九時より正午まで及び午後一時より四時までにして議場は司法部長官之を整理す

▲典獄會議參列員宿所　中村京城監獄典獄（自宅）向井平壤覆審法院檢事長（天眞樓）赤井大邱覆審法院檢事長代理（同上）栃原西大門監獄典獄（自宅）手川釜山監獄典獄（自宅）三井京城監獄典獄（不知火旅館）諏訪大邱監獄典獄（東京旅館）國分海州監獄典獄（小川旅館）永田咸興監獄典獄（清光館）南大門旅館　中村公州監獄典獄　近光州監獄典獄（不知火旅館）

戰史旅行團入京

陸軍大學戰史旅行團一行は二十九日午前八時南大門驛著汽車にて入京、校長河合中將以下敎官一同は馬車を驅つて直ちに倭城臺に向ひ寺內總督を官邸に訪問入京の挨拶を爲したる後校洞普通學校に赴き學生一同は漢陽公園よりパゴダ公園に入りて校洞普通學校に向ひたるが正午敎官一行と合して昌德宮に入り饗宴を了へて仁政殿、秘苑、動植物園、博物館等を巡覽の上中央試驗所及び商品陳列館を視察し午後四時三十分總督邸に於ける饗宴に列せり

▲一行の宿舍　旅行團一行の宿舍左の如し

▲山本旅館（職員以下十三名）（校長）河合中將（敎官）吉岡步兵大佐（同）川村步兵中佐（同）林步兵中佐（同）河田工兵中佐（副官）中井步兵大尉（軍醫）政本一等軍醫、下士以下六名

▲京城ホテル（學生十九名）田村步兵大尉、大谷步兵大尉、飯塚步兵大尉、上村砲兵大尉、岡山步兵大尉、河野步兵大尉、中村步兵大尉、吉村砲兵大尉、河合砲兵大尉、大貫步兵大尉、井上工兵大尉、小林步兵大尉、松村步兵大尉、吉住步兵大尉、板井步兵大尉、篠田騎兵大尉、矢島步兵大尉、石原工兵大尉、近藤步兵大尉

▲浦尾旅館（學生十六名）栗田步兵大尉、村上步兵大尉、平田步兵大尉、井上砲兵大尉、山下步兵大尉、長嶺步兵大尉、加納步兵大尉、谷口步兵大尉、佐賀步兵中尉、鳥井步兵中尉、手塚步兵中尉、中山步兵中尉

▲原金旅館（學生廿一名）平田砲兵中尉、松本步兵中尉、關井步兵中尉、桑名步兵中尉、龜井步兵中尉、橋本砲兵中尉、牛島步兵中尉、下村砲兵中尉、岡田砲兵中尉、太田砲兵中尉、木村砲兵中尉、山田砲兵中尉、吉本步兵中尉、中井步兵中尉、二宮步兵中尉、黑田步兵中尉、山本步兵中尉、瀨川步兵中尉、村上步兵中尉、鶴島步兵中尉、原田步兵中尉

市川少將入京

平壤旅團長市川少將は步兵第七十八聯隊視察の爲め二十九日午前八時南大門驛著入京、京城館に投宿せるが三十一日退京の筈なり

古海總長歸期

去る廿三日夜南大門驛發列車にて令兄病氣見舞として大阪府下豐能郡豐島村石橋へ向け直行し目下滯在中なる古海警務總長は三十日大阪發歸任すべき旨電報ありたり

物集博士退京

文學博士物集高見氏は中村長五郎氏同行隨員と共に二十九日午前八時三十分南大門驛發列車にて大邱へ向ひたり博士は同地唯家旅館に投宿本社支局主催の講演を爲し翌三十日同地出發東萊溫泉に一泊靜養し卅一日午後釜山本社支局主催の講演を爲したる上同夜關釜連絡船にて歸東の途に就く可し因に同行の中村長五郎氏は神戸にて博士と別れ歸鮮す可く京城にも立寄る可しと

前田慧雲師入東

滿鮮巡歷中なる文學博士前田慧雲師は二十八日午後二時京義線より入京永樂町西本願寺別院に入れり

學校長敍勳

二十五日附を以て左の通敍勳ありたり

勳八等瑞寶章
大邱高等普通學校長　宮永直吉
京城普通學校長　從七位　安河內幸介
平壤高等普通學校長　從七位　岩佐米治郎
京城高等女學校長　從七位　織田總次郎
勳六等瑞寶章（各通）
京城高等普通學校敎諭　從八位　吾孫子勝
勳五等瑞寶章
釜山中學校長　從六位勳六等　廣田直三郎

學校組合豫算略定

京畿道各郡學校組合の內未だ本年度の豫算を提出せざるもの二三ある由は既報の如くなるが此程に至り大概提出を終りたるを以て各府郡の學校組合を一括して統計を作り發表さるゝ筈

敎員檢定試驗成績

京畿道學務係に於て此程執行したる私立學校敎員檢定試驗の成績は同係に於て既に決定したるを以て一兩日中に道報を以て發表すべしと

鮮銀店長異動

朝鮮銀行にては今回左の如く滿洲各店の店長及び次席に異動を行ひたり

本店詰　長春出張所長　松原純一
安東縣出張所長　阿部讓
長春出張所長　大連支店次席　安田弘
大連支店次席　本店營業局　橋本爲之助

哈市支店の準備

朝鮮銀行にては哈爾賓支店開設準備の爲め二十八日今回本店詰となれる前安東縣出張所長阿部讓氏外一名を北行せしめしが同氏は哈爾賓に於て露國官憲並に各方面に對する諸種の交涉要務を遂げ家屋の借入をなし歸任すべきが其の開店までには尙約一箇月を要する見込の由

汚損紙幣燒却

朝鮮銀行にては二十九日午前十一時より同行內に於て監理官代理野阪事務官臨席勝田鮮銀總裁三島理事山田局長大原秘書役列席の上汚損紙幣の燒却を行ひたるが其枚數は七十二萬枚にて金額百六十三萬圓なりしと

鮮滿直通時間改正

朝鮮鐵道局に於ては來る六月十五日より京釜京義線共一部の運轉時間改正を斷行す可く其の要點を聞くに今回の時間改正は東淸線長春哈爾賓急行列車の時間改正に伴ふものにして第二〇一列車釜山發の鮮滿直通急行の時間を改正したるものなり即ち從來の時間割よりも釜山發車を四十分繰下げ其他之れに準ずるものなるが改正發着時刻左の如し

		舊	新
釜山發	午後	九、五〇	一〇、三〇
南大門著	午前	六、五〇	七、三〇
同發		七、〇〇	八、二〇
安東著	午後	五、一〇	六、四〇
同發		五、四〇	七、一〇

尙其他混合列車にも右改正に伴ふ多少の時間改正を見る可し

仁川

▲在鄕軍人會總會　在鄕軍人會仁川分會第六回總會を二十八日午前九時より仁川公立高等女學校內に開催し來會者約三百名以上にして式後各種の競技あり頗る盛會を極めたり ▲鹿兒島縣人會　在仁川鹿兒島縣人の春季親睦會を二十七日午後八時より東公園八阪樓に開催し來會者六十餘名あり盛んなりし ▲瓦斯會社認可申請　仁川瓦斯株式會社創立發起人は既報の如く二十九日發起人總代として奧田貞次郎氏名義を以て其筋に對し認可申請書を提出したり ▲松元署長歸任　京畿道警務部に於て開催せる警察署長會議に列席の爲め上京中の仁川警察署長松元鶴熊氏は二十七日歸任せり ▲醫生敎養　仁川警察署にては管內の醫生を召集し來る六月四日迄衛生上の敎養を爲すべき筈なるが出席者は總數廿九名の中二名缺席せり ▲駐在所巡查召集　仁川警察署にては管內駐在所勤務巡查を召集し二十九、三十の兩日松元署長は諸種の事項に就き訓示を與へたり ▲穀物協會豫算　仁川穀物協會大會議員京畿道參與官二十九日附を以て其筋に申請中の正五年度歲入出豫算は二十二日付を以て其筋より認可ありたり

開城

▲李容植氏講話　經學院副提學李容植氏は去る二十四日成均館に於て一場の講話を爲し多大の感動を與へたるが鮮人有志は二十五日同氏を彩霞洞に招待し歡迎宴を開けり ▲普校出火原因　西小門外にある第一普通學校分敎室（太平館）が去廿四日午前二時頃出火して烏有に歸したる出火の原因に就ては其筋に於て極力調査中なるが何しろ分敎室の事にて宿直は置かず且火氣は一切之を取扱はざる事となしあるにも不拘不意に出火したる事なれば一般之を不思議とし鮮人中には彼の如き古き建物は自ら火を發する者なりと杯迷信的の言を爲す者あるも乞食の如き者忍び入り火を失したるにあらざるかと言ふ人多きが如し斯る一方廿五日夕には開城驛長及び保線長の官舍に放火したる者あり或は放火狂者の所爲にあらずやとの想像を爲す者あり

平壤

▲在鄕軍人會總會　在鄕軍人平壤分會春期總會は五月廿八日午後二時より同會演舞場に於て擧行せられたり當日朝來雨天なりしに不拘會員多數出席し尙市川旅團長及び野島第七十七聯隊長本田府尹赤木中學校長瀧發務部長等來賓として臨場したり席定まるや渡邊分會長開會の辭を述べ勅諭の捧讀及會務の報告を爲し市川旅團長は在鄕軍人の共同一致と云ふ題下に一場の訓示演說を爲し瀧發務部長又支部長として訓示し終つて宴に移れり時に午後五時半なりき ▲寺洞軍人分會　寺洞鑛業集會所にては五月二十八日午前十時より寺洞軍人分會にて春季總會を開き役員の半數改選を行ひ午後神式を以て戰歿軍人の追悼會を催し終つて集會所後庭に於て會員百二十名佐倉分會長發聲の下に陛下の萬歲を三唱して酒宴に移り午後六時散會せり

元山

▲海軍記念日　二十七日海軍記念日は永興灣防備隊存置當時の如き賑ひを見る能はず市中何となく淋しさを感じたるが當日元山公立尋常小學校に於ては日本海々戰に關する講演ありし後全校兒童は敎員に率かれ松亭里に小遠足を試みたりと ▲土木局出張所長　元山土木局出張所長野口耕一氏は城津、淸津會寧地方視察の爲め約一箇月の豫定にて二十六日夕出帆の平壤丸に便乘出張せり ▲稅關檢查課長　元山稅關在勤の市川健吉氏は過般辭任せる齋藤勳氏の後任として這回元山稅關檢查課長に任命されたり

鳥致院

▲鳥致院神社工事　豫て計畫中の鳥致院神社本殿移轉拜殿並に社務所新築工事は先般來數度總代會開催協議の結果本年度に於て豫算九百圓を計上し全部氏子の寄附金を以て之に充つる事とし已に第一、二區は寄附金募集に著手せり此分ならば來月頃より工事に取掛るべしと因に六月一日の例祭は唯簡單に式だけ擧行する事とし落成の曉には盛大なる祭典と落成式を兼ね擧げらる由 ▲畜產組合設立　本年一月其筋に申請中の燕岐郡畜產組合は本月十一日附を以て設立認可の指令に接し事務所は同郡廳內に置き已に事務開始し居れり ▲豫防注射施行　忠南燕岐郡北面西面南面錦南の四面にては當春以來炭疽病の爲め斃死する牛畜頻々たりしに依り此度道廳より中田道技手出張、高木燕岐郡畜產技手と共に本月六日より前記四面に涉り豫防注射施行の處去る二十六日迄に四百五十頭の畜牛に接種せり ▲市場活況　一般市場の閑散なるにも拘はらず昨今の開市日は相當の人出なり取引高も頗る多く近來稀なる好況なり殊に畜市場美湖門向ひ前に埋立て工事を成し建築に著手せり ▲新設市場　本春より移轉の筈になり居りし鳥致院市場は中橋南側畑地の一帶に地を卜し已に地主側との交涉も纏まり道廳より補助金交付の金額さへ確定し居るにも拘はらず優柔不斷決行を逡巡み居りし處遲くとも六月中には全部の測量位ひは見るに至らん ▲麥作柄好況　此程管內出張を終へ歸廳したる指宿道技師の談によれば本年大小麥の作柄は先づ良好にして今後天災さへ無くば平年作は大丈夫ならんと

群山

▲早大校友會　湖南沿線各地に在住する早稻田出身者を以て成る校友會春季大會は二十七日土曜日午後七時より群山花月に於て開催せられたり各地より參會せる校友多數に上り頗る盛會なりしと ▲江景電氣　忠南江景に於て電氣會社設立の企畫ある事は既報せるが如くなるが愈々四月十九日附を以て發起人阪上富藏、橋田駒治郎、澁作平、春宮藏、林龜助、中井乘造、弘津愛助、谷口豐太郎、川村幾太郎、白石恒一氏等の名を以て其筋に向ひ設立認可申請書を提出したり今其設備計畫內容を聞くに名稱は江景電氣株式會社と稱し資本金八萬圓として創立迄に二分の一を拂込み原動力は實馬力六十五馬力サクシヨン瓦斯發生裝置とし電氣方式は三相交流三線式及び二線式キロワツト數及び最大電壓は四十キロワツト二千二百ヴオルト交流發電氣一臺を据付け十燭換算にして二千五百燈の點火能力を有する設備の由なるが愈々事業開始となりて差當り需用せらるべき見込燈數は一千三百燈に過ぎざるべきも時機を見て線を延長し論山方面に送電せば電

山東事件と曹汝霖

曹汝霖曰く山東事件に關し日本政府の支那政府に對する要求を峻拒する曉には日本は自由行動を執るに至る可し（上海電報）

新將軍北京行

山東將軍靳雲鵬は北京に赴けり（北京電報）

官業整理委員會

廿九日午前八時より官業整理委員會開催內閣陸軍農商務及び遞信各省所管の整理に關し協議する所ありたり（東京電報）

爆彈事件公判

爆彈事件第二回公判は廿九日午前九時より東京地方裁判所に於て開廷西敎授の爆發物鑑定等ありたり（東京電報）

大邱

▲東拓輸移出穀物　東拓大邱出張所に於ける大正四年十二月より五年五月下旬に至る四年度產穀物輸移出の仕向狀況を見るに

仕向地	產地	品種	石數（計位石）
東京	大邱	日本種米	[illegible]
神戸	同	同	[illegible]
大阪	同	大豆	[illegible]
同	同	在來種米	[illegible]
同	同	玄米	[illegible]
東京	淸道	日本種米	[illegible]
大阪	淸道	在來種米	[illegible]
同	同	大豆	[illegible]
神戸	倭館	日本種米	[illegible]
大阪	倭館	同	[illegible]
同	同	在來種米	[illegible]
同	同	大豆	[illegible]
神戸	永川	日本種米	[illegible]
大阪	同	在來種米	[illegible]

以上の如くにして是を總計するに大阪大豆二八二石五斗、玄米四千百七十六石、神戸玄米一千二十五石、大豆二百八十二石五斗東京玄米一千百二十六石なりと ▲司法官歸邱　司法官會議の爲め上京中なりし中山大邱覆審法院長、赤井檢事、柳澤地方法院長、大村檢事正は三十日歸邱す可し ▲金正尉轉任　慶北憲兵隊附陸軍步兵正尉金致先は二十三日附を以て駐劄軍司令部附に轉補さる

人事消息

▲谷澤第三十九旅團副官　市川旅團長に隨ひ二十九日朝入京巴城館へ
▲吉岡又三郎氏（日本公債事務）　同上二十九日朝退京
▲阿部發藏氏（明治生命重役）　卅日朝退京の豫定
▲石渡敏一氏（貴族院議員）　二十八日夜大連より再び入京
▲和田彥次郎氏（同）　同上
▲萩原京畿道憲兵隊副官　廿八日夜仁川より歸任
▲鶴島朝映侯　二十九日朝釜山へ
▲神尾直次氏（步兵中佐）　入京中の處二十八日朝釜山へ
▲本多忠夫氏（海軍省經理局海軍主計監）　二十八日午前釜山上陸鎭海へ
▲岡府中氏（同局員）　同上
▲後藤瑞巖師（臨濟宗朝鮮布敎監督）　三十日朝南大門驛著釜山より歸山の筈
▲吉田秀治郎氏（朝鮮郵船會社專務）　母堂逝去に付熊本に歸省中の處二十九日歸社
▲稻垣男爵（貴族院議員）　二十九日午前八時五十三分南大門驛發列車にて仁川へ

天津より

（木村狸串一行消息）外一名生

△山海關の夕

安奉の山水と京奉の漠野とは遙に句をなさず。「松島や」のたぐひなり。本田代議士と同車して支那を論議する一日、氣既に四百餘州を呑む頃、所謂天下第一關の稱ある山海關に入り、夏野全く暮る。明朝は天津に入らむ。

山海關にて

南北の策成つて關に入るや夏野暮る

之を政治句といふ。（廿五日天津行車中）

△驚き申候

天津に入ればさすがに風物悉く一變、外國租界の堂々たるに驚き、支那人町の殷盛なるに驚き、松平總領事の立派なるに驚き、大運河の小なるに驚き、更に宴に招かれて校書の數の多きに驚き、御馳走の數の少きに驚き申候。何れにせよ活氣旺溢なる、さても朝鮮の比には無之、まるで單位がちがひ申候（二十六日天津）

平福百穗畫伯歡迎會上賦呈　無佛 陳人

飄逸筆致紹家風。嘖々江湖論自公。畫目躍如從寸管。篩中殺活幾英雄。

●平壌名所 大同江の船遊び

兩岸の美景水に倒影して ——欸乃夏の心を唆る——

牡丹臺は平壌城中の最高臺である此の邊一帶の高地を錦繍山と云ひ、牡丹臺に登れば東は高坊山酒岩山等を廻る碧流曲江

▽夏野の間に浮きとして靜き流れ

曠々たる沃野の末に雲山の幽かなるを望み得べく平壌鑛業所の無烟炭坑も見ゆる北は丸味を持つた翠緑重疊の上に高句麗の古都大城山を望み得べし南方は鏡の如き江中に點在する羊角、綾羅の諸島より遠く船橋里の戰跡大同門、練光亭、鼎鍾門、清流壁、浮碧樓等見來りたる形勝の地一々指點し得べく西方は近く箕子廟の深林、乙密臺より遠く普通江を隔てゝ日清戰役の激戰地ヨツタルマークの戰場を望み得べし牡丹臺を下て左方に玄武門あり門は甚だ小なれども勇士原田重吉の武名と共に人口に膾炙せらるゝ處なり門外より箕子廟に通ずる山路は翠陰の雅致掬すべきものあり玄武門より引返へして乙密臺に登る

乙密臺は 三方斷崖絶壁の上に 建てたる趣味多き古建築物にして樓內には附近古戰場より拾ひ集めたる矢の根、彈片等を納む乙密臺前には廣場あり下つて箕子廟の深林に入れば松、榛の大樹四方を隔絶し人をして深山幽谷に分け入りたるが如く思はしむさゝやかなる溪流樹根を浸して流下る頗る趣きあり箕子廟は此の深林中にあり 廟廊さして大ならずと雖も綠陰の際の古雅なる朱塗の廟殿と樣々の傳說とは遊覽者をして低徊去り能はざるものあり廟の杜等には日清役の際の彈痕多數を殘せり廟より下れば廣き一面の平地に棒の若樹密生す皆拱大にして其數幾百を算し綠陰掬すべし密林を出でゝ西方の平野を望めば二基の石柱を見るべし之の邊箕子の井田あり

▽此の石柱 の傳說亦頗る多し

箕子の祭井より流れ出づる清水は夏を讃美する涼しき聲に流れ廣々たる西方の平野より青葉の風徐に渡り來る一度城外に出で進んで南方七星門を訪ふ七星門は日露戰役に於ける陸戰第一の砲火を開きたる處にして仁川の海戰と共に此の戰役の血祭りたりし處なり

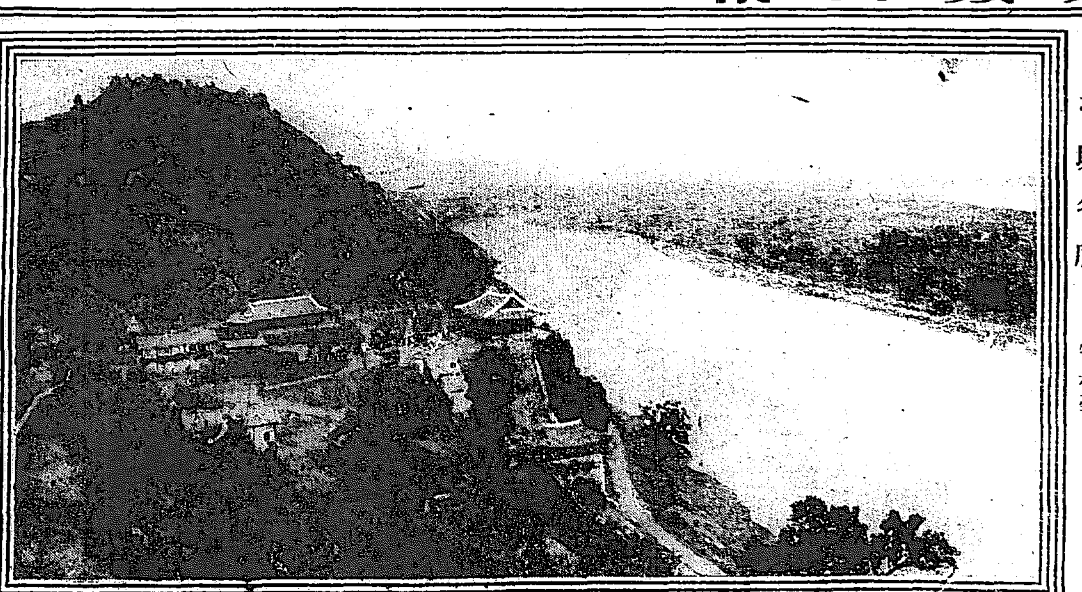
七星門より再び城內に入り大同大師を奉祀せる不換神社に詣で貯水池との間の低地を下り萬壽臺に登り更に普通門に抵る普通門は古來支那各朝の冊王使其他春秋の使節が朝鮮王に臨むの時、王より特派する奉迎使が此の門外に於て迎接し其の歸還に際しては更に此の門迄奉送し餞飲して瞬に別を悲しみたる處にして「普通門送客亭」の哀歌を殘して居る、門の建築又雄大壯麗なり

▽文祿の役 に於ては明の提督李如松

此の門より進入し小西行長と第一戰の矛を交へたる處なり前面に普通江を帶び門內には柳の老樹並立し風景亦佳絶なり平壌驛を出でたる京義線は此の門の傍を通過す、更に普通江を渡りて郊外萬景臺の絶勝を賞すべし萬景臺は大同江普通江の會合點にして恍に敝はれたる島々綠に沈れ入る江岸奇異なる山襯狩猟も又及ばざる眺めである歸路は練兵場を通過して瑞氣山に登る瑞氣山は市街に近く平壌市民が朝夕の散步地なり平壌市は一時の下に集り來る近年公園の施設稍々進捗せり更に終りに臨みて忘るべからざる事は平壌の船遊びなり鯤の如き江上を上下するさへ既に夏の心を唆るものあるに兩岸の風景水に倒影し欸乃優にやさしく水を逆ひ釣魚の小舟點々として夜は篝火を水に焚く

▽此の雅遊 ある事を忘るべからず

更に趣き多きは江に浮ぶ畫舫なり龍頭鷁首の船遊は風流の昔語りに藤原氏と平家の者を偲ぶのみなりしが平壌に遊ばゞ常に此の龍頭鷁首に似たる畫舫に駕して繪の如き江流を上下し得べきなり更に對岸船橋里に古戰場を弔ひ綠の風に吹れ來るも趣多かるべし



平壌名所 ……牡丹臺……

●憲兵と格鬪せる大賊 遂に逮捕さる

京畿道抱川郡內村面花峴里李昌淵(三七)同里李鍾軾(二七)の兩名は共謀し五月二十三日夜午前一時頃同里の李承武方側に放火し家人が消防に混雜し居れる隙を窺ひ裏垣を破壞して侵入し現金三百九十三圓入りの手提金庫を盜み出し同家より約五丁許り隔りたる山中に到り李昌淵は錠前を

捻ぢ切り現金を掴み出し

李鍾軾に三十五圓だけ渡し他は全部自宅に持ち歸り居れることを所轄抱川憲兵分遣所員が探知し、二十五日同所より上等兵一名補助員一名を遣はし各居宅に出張して兩名を逮捕したるが其際不敵にも李昌淵は在合せたる短刀を逆手に持ちて

激しく抵抗したるも約

三十分間憲兵と格鬪の後遂に捕縛され憲兵も賊も負傷したり目下同所に於て嚴重取調中

●浮れて暴れて踊つて泣いて

東京生れの長澤辮藏(三四)は獨身者にて京城の某寺に雇はれ居れる中五月二十三四日頃より精神に異狀を來しあらぬ事を口走り或は新町遊廓に浮れ込み各樓に所持金を投げ込み且つ通行人に暴行を働くより願出でに依り本町署に於て二日間保護を加へたるが踊り廻つたり泣いたりして見張りの巡查も始末に困り二十六日京城府に引渡し府にては行旅病者として南山町本願寺に收容したるに二十八日鹽ひを破壞して逃げ出したるを幸くも警官が取押へて押込みたるに同夜又々逃走して何れにか姿を晦まし目下行衛を嚴探中

●平壌地方にも大雹降る

五月二十八日午前七時頃平壌地方は大降雹ありたるが測候所の報ずる處に依れば廿八日午前六時北西の方向にて微弱なる雷鳴あり同七時頃南西の方向にて稍々强き雷響を聞くと同時に雨をともなひ間もなく雹を混へ同七時二十七分より七分間降雹あり又七時四十八分に至り二回目に二分間の降雹あり雹の大さは大豆粒大にして最も大なるものは豌豆位なり平壌にては本年初めての降雹なりと

●鮮童の小泥棒

住所不定の李百洪(一五)といふ鮮童は五月二十日頃京城北米倉町の路上にて現金五圓二十錢及び金指輪一個入の財布を拾得して之を屆出でず、引續き同所にて荷車に尾行して某內地人所有の生魚四尾を拔き取りたる爲め鍾路署の巡查に取押へらる

●大阪相撲夏場所新番附 二十九日發表

大阪大相撲の夏場所新番附は二十九日午前發表されたり(大阪特電)

	新東方	舊東方
大關	大錦	大錦
關脇	二瀬川	千舟川
小結	西ノ森	西ノ森
前頭	大泉	二瀬川
同	朝千鳥	時ノ矢
同	大達	玉澤
同	大風	有若
同	朝山	大達
同	初風	大泉
同	宮木山	大風
同	大砲	朝千鳥
同	相生	相生
同	鎗鶴山	風東
同	鶴ケ濱	朝山
同	駒ケ嶽	時ケ嶽
同	荒山	朝風
同	朝日嶽	日出山
		荒石
		殿り
		又泉

大關 小染川 小染川
關脇 荒岩

	新西方	舊西方
大關	松ノ音	加古川
關脇	朝日松	荒岩
小結	時ノ矢	朝日松
前頭	有若	大門
同	時ケ嶽	響矢
同	大門	緋縅
同	玉櫻	黒縅
同	日出山	鎗鶴山
同	響矢	初風
同	朝日潟	大砲
同	緋縅	男山
同	藤見嶽	鶴ケ嶽
同	鳴門岩	藤見嶽
同	小綠	小綠
同	小若島	神力
同	熊ケ嶽	駒ケ嶽
		鳴門岩
		蕗山
		小若島

大關 加古川 松の音
關脇 千舟川 男鈴山

右に就てその異動を見るに東方にては大錦の大關小染川の張出依然として變らず二瀬川は筆頭より二枚進みて關脇となり千舟川は二瀬と入れ替つて張出しとなり西の森は舊位置にて止り躍進力士は朝山朝千鳥の各七枚大泉の六枚進みたる位にて他は三枚宛上下せしに過ぎず新入幕は宮木山、朝日嶽の二名にして大砲、荒山、初風、鎗鶴山、鶴ケ濱は西より東に廻り幕下陷落は又泉、荒石、朝風、殿り等なり西方は松の音加古川は入れ替り荒岩張出されて朝日松關脇のあとを襲ひ東方二枚目より廻れる時の矢小結となりその他に著しき變動なく新入幕は熊ケ嶽、朝日潟二人にして玉櫻日出山は東方より廻れり

●朴齋純子輕快

一時病氣危篤の如く傳へられたる朴齋純子爵は其後森安博士の治療に由り漸次快方に赴き昨今頗る輕快になりたりと

古戰場の平壌

六月三日(土曜)午後十一時

南大門發にて四日午前五時四十分平壌著

歸路は六日の午後一時三十九分平壌發の列車までなれば何の列車でも御勝手であります

往復汽車賃 三圓五十錢

會費は汽車賃の外要りません

仁川からは四圓=切符は六月一日より南大門 龍山 仁川の三驛で發賣す五枚以上注文の方へは配達す

平壌にては觀火會、素人相撲、日鮮藝妓の手踊の餘興あり

新綠の柳都

●戰のあと 東京大相撲總評

□優勝旗四年目で西方に落つ

東京大相撲の五月場所は近年にない珍らしい番狂はせを生んだのが素晴しく人氣を呼んで相も變らぬ好景氣の內に十日間を打通し二十八日を以て目出度く千秋樂を告げた、例によつて東西力士が奮戰のあとを評して見やう先づ本場所に於て特記すべき事は西軍の百零六對八十を以て長らく優勝の地位を占めてゐた

▽東方が無殘な敗

け方をした事である、名譽に輝やく優勝旗は實に四年六場所目で西方の有に歸したのであつた東西力士個々の戰績をたづねる前に先づ東方敗衂の原因を探究して置く必要がある、改めて言ふまでもなく東方には出羽の海の一門即ち大錦、對馬洋、栃木山、兩國、九州山、宇都宮等の若武者が孰れも超弩級戰艦の威力を示し舳艫相啣むで單縱陣を布いた上に總帥西の海が豫期以上の堂々たる横綱振を示し勇戰奮鬪したので西方の幹部の苦戰名狀すべからざるものがあつたが如何せん東軍無二の闘將たる綾川銀將にも似たる源氏山が半休或は殆んど全休したのが星勘定に著しい違算を生じたのと中堅の稍老朽に屬する近江富士、大の川、紫雲龍、四海波、龍ケ崎は別として巡洋戰艦、水雷驅逐艦とも謂ふべき釋迦ケ嶽、岩木山、宮城山、梅川、朝緣に新入幕の稻葉嶽、玉の川、逆鉾等が案外振はなかつたゝめに

▽大勢西方に傾き

飛將軍栃木の敵師を仕止めて全軍の意氣を鼓舞したるも及ばず遂ひに敗走の餘儀なきに至つたのである、之れに反し西方は副將鳳が全休したが手の大將朝潮が半休した外近年になく全軍轡を揃へて東軍を邀へ擊つた爲めに意氣頗る揚り毎場所敵の好餌となつてゐた中堅が珍らしく振ひ、幹部の不振を援け奮戰したのによるのである、之れを要するに場所前に於ける眞摯にして熱心なる聯合稽古の力が與つて大なるものがある事は言ふまでもないけれども全軍の意氣が珍らしく相一致したのみならず總帥太刀が負傷を押してまで出場し全軍を激勵し多年の屈辱から脫しようと勗めたのに因る事も忘れてはならぬ、曩きに番附發表の當時その變動を評した中に今年程東西の顏が揃つて權衡が取れてゐる番附はなく面白い勝敗が見られるだらうと言つて置いたが

▽果して豫想に違

はず興味ある結果を示してくれた、その代り本場所では常に吾々の頭から離れた事のない大きな問題でありながらその解決に苦しんでゐた太刀山問題が解決された、久し振りで榮冠を戴いた西方はそれに對する最高の犧牲を拂つたのである、此れからの問題は此の高價な犧牲を拂つて贏ち得た位を何時まで保持するかと言ふ事だ恐らく覇氣滿々たる東方連中も此の蹉跌のために氣を落してしまふやうな事はあるまい、多少單調の氣味があつた東西の權手は稍面白くなつて來たさて之れから東西力士の戰評に移る(つゞく)

●猛虎背部より飛び蒐る

…れ同人の背後より飛蒐り先づ腎部に咬み付き更に肩に一擊を與へたるより林は悲鳴を擧げて救ひを求めたるが件の虎は稀大のものなりと特別狩獵者に命じ大擧掃蕩の準備中

…られたるが其後間分局に對し拝銀六千元の獻供を申込み來れる由公司に於ては…

…は超鮮瓦斯…附近に住居する所より平素子供や老人を使嗾し土城町一丁目北山…所有の…

●連絡船上陸客 廿八日午前

入港新羅丸二等客…

天氣 少雨後曇 五月三十日

金牌受領 本椿香油 髮を黒く長くつや… として髮のわけを防ぐ…

營業品目
肥料部 蒸製骨粉、乾血、蹄角粉 星印配合肥料、細工用地骨 細工用蹄角各種膠及膠原料
石鹼部 化粧用石鹼、工業用、家庭用石鹼、浮石鹼、粉末石鹼 牛脂、椰子油、鯨油、其他 油脂類、苛性曹達、洗曹達
京城東大門外紅葉町 朝鮮肥料製造所 電話二六三五番
京城岡崎町一四番地 朝日石鹼製造所 電話二五六四番 電話九七三番 振替口座京城四〇〇番

淑女畫報 六月號
■訓話 婦人の死力……菊池幽芳
■資料 春の夜語り(古印度婦人の戀)……幸田露伴
△赤い心に白い襷をかけて……跡見花蹊
△無駄話の日本婦人と體育の獨逸婦人……石黒露雄
△哀話 一紺青の夜……
■異聞 女官生活の片影……楓水生
■皇后宮台臨の赤十字總會
△閑院宮妃殿下台臨の篤志看護婦人會
△五宮各殿下の臺灣共進會台臨
△山階宮各殿下の技藝展覽會台臨
■喜壽祝賀會の跡見老女史
(畫報) ■名家の夫人令孃……數十葉
△大隈首相夫人の家政館起工式擧行
△春日の行樂(竹柏園大會と名流婦人)
△懸賞寫眞「鳩が幾羽居ますか」
■オフセット二色版(八頁)(畫報)
婦人の運命豫知法……石橋臥波
■須磨の家(家庭小說)……渡邊默禪
△ヒステリーの病狀と治療法……齋藤紀一
△婦人の眞の煩悶時代……伊藤銀月
△肥りすぎた人を瘦せさす法……藤波芙蓉
△便秘の害と其の食療法……高橋
■忠臣藏もの語 忠僕美談……雪階主人
定價金三十錢(郵稅二錢) 前金一冊四十錢 東京 博文館

海軍大佐 保坂彥太郎先生著(最新刊) 南洋通覽
南洋通に其人ありと知られたる著者は、多年南洋に在りて、身親しく諸島各地を巡檢し、地理、氣候、產業、貿易は勿論、往來交通その他彼地に於て活動中の世界各國民の事業、狀態等各方面に亙り著者得意の土語の操縱に依り、充分の觀察を遂げ、就中其發展に關しては著者の研究以ての指導的且つ戒飭的の文字にして、苟も南洋の眞相を究めんとする人々の必讀すべきものなり。
菊判九百頁餘 寫眞二十二葉 定價四圓十五錢 內地送料十六錢
(賣捌) 京城 日韓書房 大連 大阪屋號書房
東京尾張町 京橋 警醒社 振替東京五五參番

婦女界
□明るく暖かな家庭を作る工夫……鳩山春子
□私の實行して居る健康長壽法……棚橋絢子
△お茶の製法と飲用法……河村博士
△子供を丈夫に育てる祕訣……都河主幹
△家庭に於ける子供の訓練法……某氏夫人
△疲痢で子供を失つた經驗……さつき女
不如歸の浪子さんに似た私の境遇……こし子
主婦の讀物
▲廢物利用の染色法……
▲婦人にも出來る小兒洋服……宮崎女史
▲お乳と子供の病氣の手當法……吉田醫學士
▲家庭で用ひる明礬の效用……井上藥劑師
▲あぶら顏の化粧法と手當法……北原十三男
▲朝鮮に移住した苦しい家計の實際……
▲地方小寺院の生活……岡田
▲初夏の大正式挿花法……廣山
▲初夏の草花と野菜の栽培法
▲六月の會席料理とチエリーの製法
家庭小說 憂き身(讀みて人情の美を味へ)……柳川春葉
◎六月號本日出來 一冊十七錢 稅一錢
東京牛込加賀町二 婦女界社 振替二〇二八三

龍基里東方の山中にて草刈りに從事し居る中何處よりか一頭の猛虎現はれ…たるに虎は其儘逸走姿を隱したり届出に接するや所轄谷城署にては目下…

採木公司に要求す 採木公司長白分局檢查助支那人二名は馬賊の爲め拉し去られたる旨憚へ…

●四人組の賊 …丁目 曹奉和(二)金致敬(三)秋晋田(二)廿五李永春母李以右(三)の四名一覺して四人共悉く御繩を頂戴せり

●轎(こし) 朝鮮趣味の古風な乘物

▽お嫁入りの時は ▽勅任官と同もの

□南大門通りの轎屋に行つて見ますと周圍を黑い布で蔽うた穢い十四五臺の轎もあればまたいろ〳〵美しい色彩を施した婦人用の轎もあります

これは三十圓乃至四十圓かゝります

男子用のは主に棗色となつて居ます

□轎は普通前後二人で擔ふのがお定りとなつて居ますが時偶急ぎの場合には別に二人の補助人夫がつきます

□補助人夫は前後の二人が疲れてきた時「ウーウ!!」とうめくやうな奇聲を合圖に左右から轎をうけとつて疲れた二人を休ませます、始めての人は此「ウーウ!!」の聲にふき出します

□また上流の婦人が轎で旅行する時には下婢は徒歩でその左側に隨ひます、そして右手で棒を握りながら上の窓口から主人とおはなしをして歩きます

□またお嫁入りの時の轎は全くむかしの勅任官——正三品以上の官吏と同じ轎をゆるされたものである轎の上に虎の皮を敝ふのもむかしの官吏が邪氣を拂ふために用ゐた慣例です

□此の頃は虎の皮が不廉くなりましたので支那人か工夫した虎の斑模樣入りの毛布も用ゐられて居ます

□裸轎といふのは上が尖つた辻俥のやうな粗末な轎となつて居ますが上等になれば轎の全部を防寒用の毛皮で張りつめたものもあります(たけり)

●京城婦人會の講話會

これからも月並に開きます

京城婦人會の總督府より近角の京城婦人會事務所にては毎月第二土曜日を期していろ〳〵の講演の會を開いて居ります今月は第三土曜日の午後一時半から中央試驗所の宮田武騎氏を招いていろ〳〵染色や紡織物に關する有益な談話會を催しましたがこれからも毎月同所で懇話會が試みられます、尚ほ此の婦人會はこれまで十餘年間公益の爲めに盡瘁した京城婦人方の團體で只今では主に國分夫人、山口夫人、峯尾夫人、京口夫人、梶原夫人、堀越夫人などが斡旋して居られます

●トラホームが減つた

日の出學校でも好成績

日の出小學校では豫て通學兒童の衛生に就き細心の注意を拂つて居りますが昨今兒童のトラホームは大分減つたといふことです、由來トラホームはその療治に長い時間を要しますが幸ひ同校では治療の訓習が了へた女教師方が非常に熱心に施治してゐられますから南大門小學校などと同じく非常に成績がよいといふことです

畫を見に行つた畫 めちや吉

日曜日に明月館へ許列の妓生の畫の會を見に行つた。三階に上ると皆い妓生やおい妓生や美しいのや南瓜やら大小とり交ぜ十人許り新聞紙の上に行儀惡く踞んで、思ひ〳〵に蘭だの竹だの菊だのを盛んに描きなぐつて居る。中には失敬つて御面が逆だて居るのもあつた。野次馬や會員群君は山の樣に重り合つてヤンヤさ讃辭を贈つて居る。唐紙を擴げてやつたり、手を墨黑にして墨を磨つてやる親切なヨンガミサンも居つた。

◉巴里の戰時病院より申上げ候

☐☐妾共も近々日本へかへります☐☐

◇拜啓 巴里にも四月の駿かき春が參りました、京城も總督府醫院のポプラが若々しい嫩葉をもつたと存じます

◇妾共が多年美しい名にあこがれた巴里へ參りましたのも一昨年八月から最早や三年越しとなりました、時には月淸き宵など故國のことを思ひ出でます

◇去る二月下旬から始まりました恐ろしいヴエルダンの要塞戰も四十餘日を幾やした今日まだ獨逸兵は押よせて參ります

◇ヴエルダンの負傷兵は多くリヨンの方へ參りますので妾共の救護班へは他の方面から參ります

◇祖國につくす勇者の創は一番に砲創が澤山で銃創は其の三分の一にも足ませぬ

◇獨逸の毒瓦斯も左のみ評判のやうには覺ず醫員の方のおはなしにも左る事なしと申して居られます

◇猶ほ先日入院のフランスの勇士は日本の兜の如き帽子を被つて居られました、頃日はまた塹壕内にはむかしの弓矢が用ゐられるとのこと噂もきゝました

◇それからこの頭當病院へ入院中のギヌメルと申す青年將校はこれまで入臺の獨逸飛行機を撃ち落されし勇者とかにて醫員の方もその功をほめたゝへて居られました

◇巴里の街も美しい婦人の衣裳が春めいて參りました妾たちも何れ近いうち日本へ引揚ることとなりませう

◇東京へ歸りました上はまたお眼にかゝる事も出來ませう、病院の皆様へもよろしく、かしこ(四月七日巴里にてリラの花より)

婦人界消息

▲芳賀夫人(總督府醫院長夫人)院長と共に六月二日出京よりおかへりになります

▲勝田いよ子夫人(鮮銀總裁夫人)二十八日釜山上陸日下鴨戸旅館に滯在中一兩日の内入京のはず

▲隈部夫人(警務部長夫人)昨今御病氣にて自宅に御靜養中

▲草野きぬ子氏(小學校教員)久々御病氣にて總督府病院に入院中のところ昨頃全快されました

神社と教會とお寺

△西本願寺(永樂町) 前田博士の講演は二十九日午後二時からと同七時から催されました尚ほ愛國婦人會の修養會は三十日午後二時からであります

△元山法秀寺 元山曹洞宗法秀寺にてはこんど新築落成の上二十八日大本山より御本尊を送り來れるが近く盛大なる入佛式ある筈

△東本願寺(南山) 大幸監督は二十九日中釜山から歸られました

番茶のあこ

二十九日の朝陸軍大學生の一行を伴れて入京された河合陸軍中將は京城日の出小學校長河合先生の御令弟ですが河合先生の方が二つ年上でどちらも大分縣の別府附近に成人された方でこんども久しぶりに愉快な面會をされました▲印度の詩聖タゴール氏はいよ〳〵二十九日土佐丸で神戸に上陸します、氷草の花が白く浮び咲くガンヂズ河を中心として生れた氏の思想が如何にわが國に影響するかとにかく昨年以來噂された參客が訪れました▲此頃愛玩される、イ、オブ、ザ、バレー日本の名で鈴蘭の花は鮮蠻が新義州に揚つて賣て居りますが北門、西大門などを出て瀰繩の多い低地を探しますと澤山ありますが散步ながら一足門外に出て鈴蘭の花を取るなどといふ一寸京城でなくては味はれない趣味であります

▣とくさ午蒡 新午蒡の皺き所をゆでて、出常出し、酢、砂糖、鹽、酒の中に唐がらしを刻み込みし汁にて煮る別に青海苔をほうろくにて焙きふるひにてふるひ、前の午蒡にまぶせて、器に盛る。

─△會いろ〳〵▽─

○關屋局長の臺灣談 關屋學務局長の臺灣視察談話は朝鮮教育研究會の主催にて三十日午後四時から京城高等女學校に開催されます

○南大門小學校同窓會 同校卒業の女生徒は來る六月四日(日曜日)同窓會を催します

○鍾路小學校 同窓會 卒業生男生徒の同窓會は來る六月四日(日曜日)午前九時から午後四時まで同窓會を催します

○櫻井小學校同窓會 六月中旬頃開催會並に父兄會を催す豫定

○鍾路小學校學藝會 六月上旬頃開催

○教師招待會 嘉納治五郎氏信太郎氏のお邸で二十九日午前十時から京城府内の内地人教師の招待會がありました

○金剛山活動寫眞 三十日夜南山本願寺にて開會金剛山の實寫並びに京元線の絕勝地フヰルム多し

▲大正館 は青山練兵場に於けるスミス氏の宙返り飛行の實況及新劇腕の喜三郎が呼び物となり居れり

▲黄金館 は全六卷長尺物里見八犬傳が近來珍らしき大評判として喝采を受け居れり

▲如雲恭爲 嚴きに浪花館に開演して好評を博したる桃中軒如雲、京山恭爲の合同一行は滿鮮巡業のお名殘り興行として三十日夜より再び浪花館に開演したるが入場料も特に引き下げたり

商況

債券現物特電

二十七日東京來電(前日との比較) 東洋拓殖 東京電燈 朝鮮銀行 南滿鐵道 …

公債直取引

二十七日東京來電(前日との比較) 九七、〇〇

深川在米特電

二十七日深川來電 五分利 八二、五〇 五分特別 八一、四〇 二回四分 九六、八〇

東京期米特電

二十七日現在高 朝鮮米 臺灣米 內地米 二二、七五 二三、六四 二三、九四

大阪期米特電

廿七日前場 七月限 五、〇〇 五、九〇 四、九〇 …

大阪株式特電

二十九日前場 當限寄付 中限寄付 先限寄付 一四、二〇 一四、七六 一五、二九

大阪三品特電

二十九日前場 宇治川水 神戶電氣 京阪電氣 和歌山紡 合同紡績 鐘淵紡績 東洋紡績 大阪上新 日本郵船 大阪米穀 東京新株 大阪株式 …

下關期米特電

二十九日前場 五月限 六月限 七月限 八月限 九月限 十月限 …

雜報

二十九日前場 寄付 高 安 止 …

●牛皮氣弛む 一時各手筋の買進みと川關り漸に漸次買戾ふりし牛皮も內地筋の殆ご引揚げたると朝鮮皮革契約口の受渡し完了せしさによりて…

●漸く落付市況 下値一二圓方 買附困難 昨今大阪方面は今尙買入を弛めしといふにあらざるも前記の事情により卵寶買の緩和せられし丈幾分軟弛みを生じ自然附值も高値に比せば當時一二圓方の下値さなれり然れども高値覺えの鮮商は依然出し惜み困難なるもの、如し

●平板愈々低落 一二錢方の値下 平板の新規輸入ある毎は既報の如くに之等は何れも元價割高に當れるを以つて村主は市價の維持を希望せるには相違なきも大勢の非なる折柄如何さも施すの術なく各自成行きに總じて手放さん意嚮なるもの、如く從來の手持筋は之等新期の入品に壓されんも早くも此處一二錢方の値下げたり昨日頃よりコメット一圓七十二錢アポロ一圓六十錢一下が實行せる向ありといへば何れは之が一般の相場となるべし

●浪六尺更に値上 錢相場一圓六十 浪板六尺物は前報五錢新後更に二錢方を引上げ昨今近來稀に見る一圓六十錢となれり…に拘はらず獨り六尺物の値上りを見るに至りしは從來他の尺物の割安にありし反動にして昨今手持の尺物關係上…

●硝子器の昨今 順に復し來り 器は今春仕入當時に於て內地相場は何れも三四割物により五六割方の高値なりしが當地に於ては前記の商品あると共に他事情の爲め內地高に伴ひ難く此處愈々需要季節を迎へたる今日となり漸く食器類を通じ三割高の見當に過ぎず又製造者及び販賣店の競爭激しき爲め自然に安賣行はれ一時一打に付一圓內外に取引せられしもの今日にては八十錢內外迄下落せりといふ

●地場精米不勢 は依然歡願の人氣を脱せず好料に買附得らざる物なきにあらずして大體に於ては持合圈內にありて無關さ安價には買附難きものあるが精米地場卸値は過般組合に於て協議したる三十錢上げも當時に實行を見るに至らざりしのみならず原料の氣配しさいふのみにて漸次安値に追入れ今日にては十二圓九十錢が普通相場となれる模樣にて…精米供給能力の過剩なる爲め…依然現狀の如き…より脫する能はざるべし

下關相場

▲朝鮮白米は依然重し…

三邑仲買店

大阪堂島米穀取引所仲買人 …

京城正米

△朝鮮一等白米(常用) △同二等白米(常用) △同 △同 △龍山大豆 △フリツポ大豆 △同青大豆 △同 △元山大豆雄上(株立) △深川大豆 …

南大門の廻穀

二十八日分 西井里玄米 西井里 平澤米 平澤玄米 平澤米 水原白米 西井里 倭館大麥 二十九日分 鳥山玄米 仁川胡麻 金泉胡麻 郭山粟 一山白米 南市粟 …

仁川現物市場

▲穀 入津昨今七八百叺氣配保合ひ…

仁川米豆取引所仲買人

㊐仲買店 支配人 土居勝 電話二八二番

釜山穀物市場

生魚市場

仁川期米

▲二十九日前場 二節三十錢三節三十五錢と高移 大阪四節三十九錢と尚高移 小氣崩れ演出

吉 行賀仲買店

仁川 電話一一二九番

市場零聞

▲前場は不勢 硬派の見送 益賣募り

▲入氣賣逸る 大阪の立直に反し頗る不勢に陷る

▲相場逆行す ▲鞘擴大す ▲五六錢鞘は擴大又復二圓十 ▲月末關係割高維持 末の關係で買進む手

仁川米豆取引所 二十九日の七月限

寄付	十二圓三十一錢	
高値	十二圓三十一錢	
安値	十二圓三十錢	
賣買取組高	一萬千六百五十石	

北濱だより

▲當株強硬の一因

演藝案内

黄金館 黄金町四丁目 電話二六三七 天然色活動寫眞株式會社滿鮮一手代理店 ◉實寫 伊太利噴火山 ◉新劇 南總里見八犬傳 全六卷 ◉泰西大活劇 ムンロの秘密 全三卷

大正館 初日以來連日連夜滿員 東京青山練兵場に於けるスミス氏冒險飛行 舊劇 腕の喜三郎 新派 乳兄弟(一名日本クレオパトラ) 三十一日限日延べなし

浪花館 明治町 電話二六〇番 ◎三十日より毎日午後正五時半開演 お馴染の京山恭爲、桃中軒如雲合同大一座は滿鮮巡業の最終告別興行として再び當舘に現る!

御成座 二町 電話二九一 市川海老松 阪東龜鶴一座

黄金館 初日以來引續き滿員の 南總里見八犬傳 全六卷

大正館 櫻井町 電話八七三

七星堂醫院 內科 小兒科 梅毒淋病 皮膚病外科 院主 鈴木慶藏 醫師 稲垣精一 醫師 渕上田或 京城本町四(櫻井町角)電話二三四

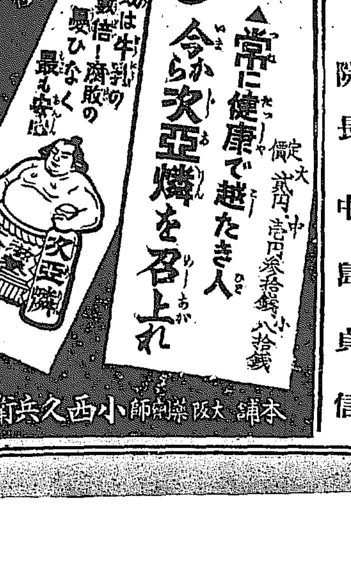
肺病良劑 金氏煎 本劑は從來のクレヲソート又はグアヤコール系統以外の獨特…

東京市下谷區上根岸町 日本製藥研究所

電機學校 校外生 講習生 東京神田錦町三丁目

判決要錄 第六卷 內容 自大正四年一月至同年十二月大審院、控訴院、地方、區、行政裁判所の裁判、司法省の訓令回答、法曹會決議の要旨を蒐輯したるもの也 特長 判例の首に當該法條の全文を掲ぐ故に一々法文を検索するの煩なし◎判例は各法令の章節款の順序に排列す故に一見明瞭なり◎判例の體頭に見出しを附す故に檢索に便なり事項索引法文索引を附す直に其需むる所の判例を檢出するの便あり 東京市日本橋區本銀町四の九 法律新聞社

中島醫院 內科 小兒科 入院隨意 京城明治町(元壽鱗學校隣) 院長 中島貞信 電話三七八番



多々見醫院 內科 小兒科 皮膚病花柳病 入院隨意 京城日出小學校前 院主 醫學得業士 多々見五郞 電話九四〇番

銷夏の友 ◎キリン印◎ ▼サイダー ▼シトロン ▼召上て涼味を招き ▼飲んで心氣爽快

製造元 京城櫻井町(大正館前) 日の出商會 電話二三四八

氷 朝鮮製氷社京城販賣部 山下磯吉

貯蓄預金 元金百圓ニ付日步壹錢三厘金壹錢以上何程ニテモ御預申候 株式會社長崎貯蓄銀行代理店 株式會社十八銀行京城支店 京城黃金町電話四〇番 振替貯金口座京城八一四番

同 龍山出張所 龍山元町二丁目 電話一八番

諸預金貸付爲替銀行一般ノ業務ハ精々御便利ニ取扱可申候

宮本武藏

第五十三回　桃川如燕口演　浪上義三郎速記

重宗の下知を聞くより御馬脇に控へたる板倉名代の村雨八右衛門『心得ました』といふと等しく其場へ飛び出し、一刀抜くより早く飛懸つて牛の首をスパーリ切つて落とした、飛いたのは牛で、モー吼〳〵ませんといつたかどうか、首は二三間彼方へ飛んがつた、牛方は吃驚して腰を抜かして了ふ往來の者は右往左往に逃げる大變な騒ぎ、重宗ニッコリ笑ひ八右衛門に命じて右の牛の頭を槍先に貫き、其儘馬を早めて京都へ入洛いたしましたが、往來の貴賤老若悉いたの驚かないではない大きな牛の頭を持つて來た、まさか京都へ來て牛屋を初める譯でもあるまいが何だらうと思つて見て居る、軈て右の牛の頭を六條河原へ晒して傍らに木札を樹て「一此牛今般所司代板倉周防守上洛の節路次に於て無禮を働き剩さへ行列に對し悪口いたし候に付家臣に命じ之を誅し首級は獄門に行ふものなり」と書いて諸人に見せました大變な評判になつて見物は黒山のやう〇「どうおやい吉兵衛はん、奇體な事があるものやないか牛的の獄門や〈「牛的が何様にしたんや〇「板倉はんに悪口したんや〇「畜生が悪口するかいな〈「何やしらんが大した勢ひやないか、マゴ〳〵すると首が飛ぶで〈「エライ所司代はんやなア何しろ牛的の獄門は初めてや」大變た騒ぎ、之が評判になつて板倉周防守の悪口をするものがバッタリなくなつた、重宗奇計を用ゐて人心を抑へたといふ、されば在職中は上下とも能く納まりました、重宗の所司代を勤めて居た間には宜い話が澤山ある或時三條の呉服屋の内で婦人が二人で一人の兒を爭つて訴へ出た事がある、一人は妻で一人は妾で双ひに此兒は妾の兒に違ひはないイエ之は妾の生んだ兒だといつて兩方で頑張つて居る、开で與力から周防守へ申上げると重宗が兩名の女子を白洲へ呼んで重「コレ〳〵其方達兩人で夫れなる小兒を互ひに自分の實子であるといつて爭そつて居るといふ事であるが左様か 妻「ハイ左様でございます、手前がお腹を痛めまして生んだ兒に違ひございません、夫を此妾が自分の兒だと申しましてどうしても頑情を張つて居ります 妾「イエ御前様夫は違ひます、妾がお腹を痛めました兒に相違ございません、何も手前が妾だと申して此兒を種子にとやかう申す譯ではございません、唯自分の實子に相違ございませんものをさうでないと申しますので口惜しうございますからお訴たへ申しました 妻「イエ御役人様妾の兒に違ひございません、彼女の申しますのは皆な虚僞で…… 妾「イエ妾の申しますのが眞正で…… 重「まアまア待て、兩方で同じ様な事を申して居ても果しが付かん、第一予にも何れの兒であるといふ裁判も出來ん、之は尋常では相分らんに依つて予が一つ名案を授ける、其方達兩人にて予の面前に於て其小兒を引合つて引勝つた方の婦人の兒といたしたら宜しからう、其方が一番早くて宜しい 妾「左様ならばあの此の小兒を妾等が引張合ひますので 重「左様、兩人共力一杯に引かんければ往かん、力が足らぬと自身腹を痛めた小兒を他人に渡されるぞ宜いか 〈「ハイ 重「サア予の前に於て勝負をいたせ、與力同心も妙な事をいふ方だと思つて居る、二人の女が夫へ進んで眞中に五歳ばかりの小兒を置いて兩方から手を取つて一二三と聲を懸けて引張つた、周防守は眼を放さず見て在つしやると、家内だといふ女の方が力が足らないから小兒は妾の方へ倒れ懸つた、重宗見ると等しく 重「勝負相分つた、兩人止めい 妾「ハイ有難う存じます、お庇蔭さまで妾の兒と決りましたぞうしても實の母子でございますから手前の方へ倒れました 重「コレ〳〵其方の勝と相成つたか 妾「左様でございます 御覧の通り、妾の膝へ倒れました引張合つて勝つた方の兒にしろと仰しやいましたから其通りにいたしたので 重「默れ、京都所司代を勤める周防守の眼を晦まさんとする憎くい奴其小兒は汝の眞の倅ではないぞ。

子供と綺雑誌 綺雑誌が子供に取つて大切なると同時にその選擇の必要なることは今更申すまでもなきところなるが婦人畫報發行所の東京社の『日本幼年』は同社多年の經驗と兒童研究家の泰斗倉橋惣三氏の苦心とに依る最も理想的子供綺雑誌なり今其内容を見るに繪の風と色彩といひ既に小分なく殊に話材の取捨其宜しきを得て子供の智情窓を平均して稀めて健全に發達せしむる模範的にくたれば三歳より十歳位迄の子供は面白く見てゐる中に知らず〳〵心に良感化を得べく子を持てる親たちには是非購めたきものなり定價十二錢 市内各書店にあり

五月三十一日九星　舊四月三十日戊辰　本命五黄八方開 先負

▲五黄● 物の捉を意味する日新事見合南方は吉 暗闘なし▲六白● 〆括よき日轉居開業入門求職家作名弘金件縁談先など見越たる婚事等萬吉▲七赤● 利益増大の日轉居入學金件名弘求職婚禮取引等皆吉▲八白● 拍子ぬけのする事有日新事手控隻事は吉人に物を托せぬがよし▲九紫● 大望届く日轉居旅行入門名弘求職薬遺金縁談新地を求る等萬吉▲一白● 一寸邪魔さるゝ事有日往復新事手控商取引は妨なし▲二黒● お盆ごかしの事有日新事手控商取は吉散財を防がるべし▲三碧● 面倒起る事有日新事手控商事は吉一切のせわ新た禁ず▲四緑● 一喜一憂の日と雖も新事控目の方吉移轉旅行は妨なし

吸入瓦斯發動機關

專賣特許最新式

普通動力用。發電機專用。船舶用

▲朝鮮に於ける供給先▼

釜山岸本町 石川精米所　釜山富平町 阿部製麵工場　釜山土城町 朝鮮瓦斯電氣會社　京城南大門外 待井精米所　京釜線鳥致院 岡島精米所　全羅南道下島 下門精米所　同 港門島 港野島精搗臺　同 興水港 山仁搗所　京畿道三面 龍山水場　京畿道鉢川 福社金揚水場　平壤 相洞揚水場　平壤 普通揚水場　平壤 平壤礎器製造會社　元山新町 野木製材所

元山本町 森川鐵工所　慶尙南道統營港 福島精米所　慶尙北道尙州郡 尙永金山　咸鏡南道德原面 永興金山　咸鏡南道 成大洞山　黃海道長淵郡 小林樂山鑛業　黃海道延□郡 禮成山部　平安北道新倉面 支川昌金山　平安北道大□面 鉛城金山　忠清北道 無極金山　忠清南道 南山里金山　全羅南道 鎭南浦電氣會社　全羅南道 久原製煉所　全羅南道 齋藤精米所

大阪府西成郡鷲洲町大仁
發動機製造株式會社
社長 工學博士 黒川勇熊

富の道しるべ

山縣五十雄氏 村上唯吉氏合著

誰も貧乏は厭で、安樂有福な暮しを爲たいと願つて居るのですが、暮し方の下手な爲めに、貧乏で苦んで居る人が澤山あります此本には如何すれば金を溜めて、樂な身になる事が出來るかといふ事を、誰にもよく分るやうに易しく面白く書いてあります。例へば、乞食のやうな貧乏な女が百萬圓の長者になつた話もあり、五十歳の水呑百姓か引續く不幸の爲め食ふや、食はずの憂目に落ちたに拘らず、後には樂な身になつた話もあります。

一册の代價は僅に十五錢、送料は二錢。雜誌一册の値段ですから捨てたと思つて、買つて讀んで御覧なさい、成程と御悟りになつて、大きな徳をなさる事は請合です。

▲一手販賣　京城日報社代理部

大日本優等清酒 ハクツル

品質純良　衛生無害

白鶴

攝津灘御影町 醸造元 嘉納合名會社

京城本町二丁目廿番地 發賣元 前田酒店 電話一三七番 振替口座四二五番

資本金 五百萬圓 頭取 安田善三郎

★ 株式會社 百三十銀行京城支店 京城本町壹丁目 電話四五八番 振替貯金京城一九二番

銀行一般の業務精々御便利に御取扱申候爲換取組先は内地各方面並朝鮮樞要の地に有之候

本邦及英米國政府 專賣特許

滋養強壯料

▼甚しき臭味を忍びて、肝油を飲用すべき時代は去れり▲
▼咀嚼して美味無臭、容易に定量の肝油を食用し得べき▲

河合龜太郎氏創製

◎肝油ドロップス

(現品縮寫圖)

肝油が一般の虚弱者、羸痩者、結核性素質者、營養不良に起因する眼病患者、腺病質の兒童等に對し、治療上缺ぐべからざる滋養劑として内科、眼科、小兒科等の醫家に處方せられ、卓効を奏するは、醫療上の定論なり、然れども其特有の臭味、甚だしく不快なるが故に其服用を嫌忌せらるゝを慨し、河合氏多年苦心研究の結果、形狀洋菓ドロップスに似て、麥芽糖及び可溶性の含窒素物を基礎とし、一顆毎に精製純良の肝油一瓦宛を正確に含有し、乳化完全にして、分布極めて細密、美味無臭にして而かも容易に食用し得べき『肝油ドロップス』を創製す、本品は從來、肝油諸製品に優り、服用に面倒なる手數、携帶の不便、腐敗の迅速なる等の缺點なく殆んど本質の肝油たる事を忘れ、兒童は勿論何人も好んで食用し得ると、酷暑の候と雖も、冬季と異る事なく、消化吸收の作用頗る良好なる事とは本品の最も優秀なる特色とする所なり。

肝油含量一顆一グラム 一日二回乃至三回服用
五歲以下 一回一顆又は二顆
十歲以下 一回二顆乃至四顆
十五歲以下 一回三顆乃至六顆
大人 一回八顆乃至十五顆

用法 普通菓子の如く食すべし、又は鋏を以て細片に剪り冷水或は微温湯にて嚥下にするも妨げなし

定價 五十顆入一壜 金七十錢 百二十顆入一壜 金一圓五十錢 復方百顆入一壜 金一圓五十錢

登錄商標 ◎ 專賣特許 肝油ドロップス
肝油の含量を一顆一瓦とし糖及び麥芽を以て其性を溶解し無害なる素質の物を以て成る

如斯人は滋養料◎肝油ドロップスを用ふべし

一、顔の色が蒼白くて艶無き人
一、皮膚の紋理が悪くザワ〳〵してゐる所謂あれ性の人
一、身體一般に貧血してゐる人
一、是といふ病氣はなくても何と無く弱く感冒に罹り易い人
一、筋肉の目立て痩せてゐる人
一、手足が冷て寝られぬといふやうな纎弱い人
一、色が蒼くて肉痩せ、而して活潑ならぬ所謂腺病的の小兒
一、頸が細長く、頰が痩け、咳嗽や痰の人並より多く出る所謂結核素質のある人
一、筋肉を太らせ、無病壯健に元氣よく活動せんとする人
一、身體一般に脂肪氣の少き人
一、顔や手先きを滑こくし度人
一、産前産後の滋養を計らうとする人

登錄商標 ◎ 專賣特許 複方 肝油ドロップス
肝油の含量を一顆一瓦とし有機燐鐵及石灰を加へ規那を含有せしむ

如斯人は滋養料◎復方肝油ドロップスを用ふべし

一、骨の故障即ち佝僂病骨軟化其の他種々の骨病ある人
一、營養不良から來れる眼病、例へば夜盲症や網膜貧血に罹れる人
一、腺病(瘰癧)に罹れる小兒
一、發育不全の小兒
一、貧血症になつてゐる人
一、肺結核其他結核的の病に罹つてゐる人
一、腦神經衰弱、ヒポコンデリー、ヒステリーなどの神經病に惱まされてゐる人
一、陰萎、遺精などの生殖器神經衰弱に罹れる人
一、病後の衰弱を速く回復したい人
一、心臓病に罹れる人
一、右の外種々の病に罹つてゐる人の滋養物として理想の良食物である

▲賣捌＝全國到る處の薬舖。洋酒食料品店。化粧品店。小間物店▼

本舖
ミツワ石鹸
ミツワ椿油
ミツワ家庭藥
肝油ドロップス
御園化粧品

發賣元 ◎ 登錄商號
東京市日本橋區橘町四丁目 藥劑、滋養品、石鹸、香粧品、小間物問屋
丸見屋商店
電信略號〇ミヤ……振替口座東京七一〇番
營業部電話特長浪花三〇、四四八、四四九、四五〇番

[illegible]

京城日報
第三版
三十日朝刊 (夕刊と合せて八頁)
發行兼編輯人 奥田直毅 印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社

京城日報 廣軌問題(一)

我が國有鐵道の少くとも大動脈たる幹線を、廣軌に改築せんとするの計畫案は、夙に第二次桂内閣の時代に、第二十七議會に提出せられてより國民一般の注意を喚起し來りしが其の改築の必要の認めらるゝに拘らず、今日まで之れが決定を見るに至らず。其原因は多く財政の都合に存せしや言を俟たず。然るに現大隈内閣に於て、再び廣軌改築案を立て、曩きに軌制調査會の組織せらるゝあり。廣軌案は再び朝野の重要問題となれり。但だ此の廣軌案が、又もや單に未定案として葬むり去られ、調査會は竟に調査の爲めに時間と勞力とを費やすに過ぎざるに畢らむかを危ぶまる。

鐵道院の今日執る所の鐵道政策は、其の方針新線の延長よりも、寧ろ既設線の改良に重きを置くに在るが如し。蓋し我本土に於ける國有鐵道は、今や幹枝線ともに通じて改良を要するの時期に際會し、而も殆ど絶對の必要に迫られつゝあり。從て茲に生ずる問題は、巨資を投じて既成線を改良するが爲めに、我邦多年の問題たる、廣軌改築を思ひ止まるべきや如何に在り。詳言すれば、廣軌改築は帝國將來の經濟的發展に伴うて明かに有利なる所以の確かめらるゝにも拘らず、方法に關して之れが實行を未だ許さゞるものあるに過ぎず。即ち時期の問題たるに過ぎざるに、今日狹軌既設線も亦改良を必要とし、之に向つて一たび鉅額の資金を投じ其の改良を行ふに於ては、廣軌案は自然に無期延期となり、事實上消滅に歸すると同一の運命に陷るが故に、現鐵道當局者は、從來の狹軌改良に同じく鉅資を投ずる位ならば、寧ろ今日の機會に於て、廣軌制を決定し、最も貨客輸送の繁忙なる大幹線のみにても、之れが實行を速かにせんが爲め、茲に廣軌問題を提起するに至りしものたるべし。進んで廣軌を執るべきか。將又退いて狹軌に滿足すべきか。政府當局者は目下二路孰れを擇ぶかの岐路に立てり。

今日の場合は、廣軌採用の可否につき、其の決定點にあり。而して此問題は帝國の經濟上、軍事上極めて重大なる問題にして、同時に又殖民地殊に朝鮮滿洲との關係淺からざる問題なるが故に、廣軌改築を必要とする立場より、本欄に於て少しく論ずる所あらむ。

三道隨行記 中島生

十二 芙江より清州

○芙江清州間五里四丁の道路は極めて不治にして、定期自動車を通ず。芙江驛を距る少許にして、道路に沿うて里餘の間赤土を掘り返したる不規則亂雜なる溝を見る。砂金を掘れるなりと云ふ。殆ど芙江より清州に至る一帶の地到る處に採掘せられ、累々たる土砂は蜿々たる丘陵をなし數里に亙る。但だ問題は、耕地を廢滅せしめてまでも、砂金を採る方が果して大局より此地方の利益たるや否やに在り。

○清州邑に近づくに從ひ、山野著しく青味を増し、蓁蕪村郊に罩めて、自動車の疾驅する處、麥浪人を挟ち積翠直ちに衣帯を侵す。七時半總督一行は清州邑の入口石橋の畔に著す。此處にて總督は車を下り、夥多出迎者に接し、再び車を驅りて邑内を徐行し道長官々舍に入る。一行は其々定めの宿舍に投す。余の宿所は北一樓といふ旗亭の離れ座敷に定められたり。芙江より來れる朝鮮新聞鳥致院支社の森田君と同宿なり。

○此夜清州の官民有志より「ほへと」樓に招待せられ、齋藤第一部長佐々木第二部長を始め、有力者の饗應に與かる。忠州より御馴染になりたる三宅君も亦座にあり、余が爲めに忠北の産業を説く頗る詳に、得る處甚だ多かりき。茲に當夜の主人側の諸氏に對し深謝の意を表せんとす。

大阪の財界

△南洋航路と商船 廈門油頭間の航路は英支共同のドクラス會社の航路にして經營し居れるが南支一帶の航路權を握れる會社は船客の待遇貨物取扱の點に就いて疎漏の點少からず且つ運賃の如きも本邦汽船に比し頗る不廉なるより同方面渡航の顧客は暫時大阪商船の定期航路に吸收せられつゝありと

△板硝子トラスト成る 内地板硝子の需要は以來一層激増と共に自然當地同業者間の販賣競爭を増大ならしめ之れが爲め價格の不統一を招き結果は各自の不利を見るに至りたるを以て今回當地に和井田商會外五同業者は種々協議の末此れ等の不利を除去すべき目的の下に板硝子トラストを組織し同時に時價の調節を計るべく一函に付一圓の値上げを爲し之を以て今後の協定價格と定め且つ信認金を醵出せしめて積立て置き他日に基本財産として右トラストの鞏固を計ることゝなし一同規約に調印を了したりと

△石油値下問題 去冬來漸騰の石油相場は今春に入り一層高値を示し約五割方の暴騰を見るに至りたるが昨今の如く斯業閑散期に際し今後到底現在の値段を維持すること困難なるを以て過般來内油側は値下を希望し居たるも外油との協定上一時其成行に放任し來りしが内地油會社は今後石油値段を電氣瓦斯と稍一致する價格迄値下するの提議をなすべく若し外油側に對する交渉纏らざる場合は各社自由の行動を執るに至るべしと

△製氷値上協議 日本製氷外四製氷の協定價格は一貫目三錢なりしも原料高のため不需要期に於ける喰込を採算する時は何等利益とならざるを以て自ら値上の協議中なりといへば早晩一錢方の昂騰を見るべし

△大阪耐火の暗闘 本年三月資本金百二十萬圓を以て成立したる大阪耐火會社は大阪西區石油町寄廣瀬煉瓦製造工場の受渡を了り耐火煉瓦の賣行良好なるに伴ひ業況は先づ順調に經過しつゝあり然るに彼の粘土鑛區の受渡しに就ては竟に會社内部に紛議を生じ今や益々火の手は熾ならんとす同社の紛爭の原因は一面よりせば重役たる廣瀬田畑兩氏の暗闘とも見るべし

△馬來丸入港 地中海に於て八幡丸と衝突後久しくポートセッドに繋船され一問題を惹起し三月八日孟買へ廻送せる大阪商船の馬來丸は獨艦艇に擊沈されたる建國丸の乘組船員の手にて神戸に著せるが本船は引續き印度航路就航の筈にて次航は六月六日神戸發七月七日孟買著の豫定なりと

△和泉紡社債内定 和泉紡績の社債六十萬圓は既記以來計畫中なりしが年利七朱にて其の取引銀行との間に實出上の協議成立したる由にて近日之が實出を見るならん (大阪支局發)

如何にして内地に朝鮮を紹介す可きか(三)

喫緊の要務=東都諸名士の意見

▽殖民地を除外して現代の國家無し

早稻田大學教授 永井柳太郎氏談

□外には世界政策 内には社會政策

現代の歐米文明諸國の國家的生活は植民地を除外しては語ることが出來ない。財政といひ、外交といひ、悉く殖民地の問題に觸れずして解決し得るものは一つも無いのである。則ち現代文明諸國の豫算表を一瞥しても其理は分明になるのであるが、彼等が政府の豫算編制上の二大綱目とするところのものは、一は外に對する世界政策の遂行、一は内に對する社會政策の遂行である。海軍擴張は世界政策遂行のためである。海運業獎勵は世界政策遂行のためであり關稅制度は世界政策遂行のためである。また一方、養老年金制度の設定は社會政策遂行のためである。勞働保險の開始勞働紹介所の設立、貧民稅の輕減等皆社會政策遂行のためである。此國家財政上に重き地位を占め、國民の經濟生活に大なる關係を有する世界政策なるものは何かと言へば、植民地の獲得及び其維持に他ならぬのである。彼等にとつては、植民地のことは實に彼等の日常生活それ自身である。英吉利然り、佛蘭西然り、獨逸然かり、米國の如きまた然かり。

□スタンダードの植民地附錄

歐米の植民地が斯くの如く國民生活上重大なる意味を維持するに就いてはまた各種の機關が國民と植民地とを結び付ける爲めに非常なる努力を拂つて居る。先づ新聞雜誌の如きも其の一つであつて、日刊の新聞が殖民地附錄を出すのは勿論、其他に各植民地專門の機關新聞機關雜誌が多いのである。特に有名なのは、英國に於ける「スタンダード」新聞の每週木曜日に出す植民地附錄の如きは英帝國の植民地全般に涉れる記事を網羅し雜誌「ラウンドテーブル」「帝國評論」「印度及び極東」の如き皆植民地に關する好個の專門雜誌である。

而して彼等は自國の植民地──政治上自國の領土となつた地方に對してのみ注意を怠らぬと同時に、自國の領土以外の土地でも自國民の經濟活動に關係のある限りは、矢張り自國の植民地に臨むと同樣の態度を以て臨み研究に日も是れ足らぬ有樣である。例へば歐羅巴諸國の小亞細亞に對する態度の如きが是れである。

實に、現代の外交の鍵の一つは如何にして植民地を獲得す可きや、若くは如何にして國民の經濟的活動の範圍を擴大す可きやにある。

□帝國協會と移民通報所の事業

而して歐米の殖民諸國は、政府として植民地を國民に紹介するに頗る力を致して居る。英國には半官半民の「帝國協會」があつて、英帝國の全植民地に於ける物産とか事業とかを紹介するに力め、植民地物産陳列館を建設し其中に植民地の凡ての物産を陳列してある。故に一度此の協會に至れば資本家が殖民地の如何なるものに向つて投資す可きか一目瞭然となるのである。更に植民地に向つて勞力を供給しようと思ふもの即ち勞働者乃至移民のためには、これまた半官半民の「移民通報所」があつて、こゝには植民地の何處へ行くには、汽車賃がいくらで、旅籍は何といふのがあつて宿料は幾何で、其町には何ういふ事業のために今何人の如何なる種類の勞働者を要し賃銀は幾何である、といつたやうに痒いところに手の屆いた調べが出來てゐて、何人も之を利用して就職移住の道を拓き得るのである (つゞく)

著群書索引有作　物集 埋書
萬殊方便一壎欽。弘誓海深觀世音。諸群書爲索引。窈比應物普門心。

同上和韻　此經 岳陽
先生志業窪堪欽。篋裡文章錚有音。功德千秋如日月。照周寰宇萬人心。

祝廣文庫上梓賦呈
心織筆耕三十春。至誠只欲益斯民。文章道德稀今古。知是乾坤獨步人。

又
牡丹花發鳳凰鳴。大著新成天下驚。願賴仙妃藏寶函。永兼來者頌光榮。

戯詠浦島太郎　物集 埋書
島郎元匪背仙妃。億底何思破鏡依。一臥三春巫山夢。覺來空見白雲飛。

大阪期米特電 (廿九日)

▲續て不勢

▲(イ)(ロ)の賣 ▲(ハ)買退く

仁川米豆取引所

廿八日の七月限

五月限 九百石
六月限 四千七百石
七月限 三萬六千三百五十石

正則英語學校々主 齋藤秀三郎先生著
熟語本位 英和中辭典
▼本書は著者が獨力多年の歲月と心血を灑いで大成せる我語學界空前の大著述にして、内容の美點妙處は枚擧に遑あらず。否寧ろ卷首より卷尾に至る迄悉く新機軸を以て充たされ、他の類書の如く貧弱なる特長を提げて大言壯語するものゝ比にあらず!!
▼本書をして類書中の模範辭書たらしめんと欲し内容の精撰に努めたる結果、他の辭書に比すれば猶幾分の高價を免れず。
▼本書發賣開始後僅々十ケ月餘にして參萬五千部を賣盡すの現象を呈せり。殊に其販路は地方教育の中樞とも云ふべき各府縣師範學校及び中學校より最も多數の大注文に接するの光榮に浴せり。又以て本書の聲價を證するに足るべし。依て更に廣く本書の普及を圖り聊か斯界に貢献せんことを期す!!
▼乞ふ諸士よ迅かに一本を座右に備へ以て斯學の眞髓を究められよ!!!
(内容見本申越次第進呈)
定價 貳圓五拾錢
送費 東京市内金四錢 地方金拾貳錢 支那、朝鮮、臺灣、樺太、各金四拾錢
▼發賣所 東京市京橋區南傳馬町一ノ一 目黑分店
振替東京二三三五七 電話京橋二七四九

夏衣大賣出し
暴落の最底品全部荷揃
夏衣御買入の最好時期
六月一日より五日迄
浴衣地階上陳列
會見切反物ツリ切澤山有之候
京城本町一丁目
◇三中井吳服店
電話三七番 振替口座五二四番
支店所在地 大邱 元山 晋州

米大統領の講和意見

平和促進大會に於けるウ氏の演説

華盛頓來電に據れば米國大統領ウイルソン氏は平和促進の爲め開かれたる大會に臨席し演説を試みて曰く若し米國にして講和運動の開始を提議するの特權を與へられたりとせば余は下の如き趣旨に依りて行動すべし(一)各交戰國が同意し得る樣其の利益問題の解決を計る事(二)各國民の世界的聯盟を作り海上の行動を世界各國の共同的使用に供せん爲め之れが完全なる保障を爲す事(三)條約に背き又は豫告を與ふる事なくして戰端を開きたる場合之れが紛爭の原因に就ては完全に領土を保全せる政治的獨立の事實上の保障者たる世界各國の公論に問ふ事(紐育電報)

夜陰に乘じて猛襲

佛軍キミールの敵塹壕を占領す

巴里來電公報に曰く我軍は二十七日午後キミール村落及び其の西部を攻撃し激烈なる戰鬪の後同村落の西部に侵入しキミールの西北に於ける獨軍の塹壕數條を占領したるに敵は猛烈なる逆襲を行ひて右の占領地を奪還せんとしたるも失敗せり我砲兵は三〇四高地の東方に於て夜陰に乘じて進出を試みたり二十七日午後獨軍がドーモン郊外の我陣地に對して行はれたる第二回の攻撃は失敗に歸しヴエルダンの北方に於ては廿六日夜激烈なる砲戰行はれたり(倫敦電報)

勃軍希國砲臺占領

二千五百の勃牙利兵は希臘國境を越ゑて希臘州内に侵入しルペルジアンオブオ、ドラゴテンの砲臺を占領し希臘軍は退却せり(倫敦電報)

大禮記錄編纂

内閣にては今上陛下御大禮記錄を編纂する事となり二十九日官報勅令百四十七號を以て臨時職員增置の旨公示せらる(東京特電)

工場法延期奏請

大隈首相は二十九日午前十時參内奏御座所に於て天皇陛下に拜謁仰付られ樞府特別委員會に附議中の工場法施行令は審議未了の爲め施行延期の御裁可を奏請し種々御下問に奉答後十一時過闕下を退出せり尚首相に先立ち芳川副議長も參内樞府に於ける同施行令審議に關する要件を伏奏し同三十分退出副議長は宮城より永田町事務局に赴き折柄待受中の上山農商務次官岡商工局長と會見同問題に關する政府の意嚮を聽取せり(東京特電)

工場法實施延期

河野農相上山次官は二十九日午前十一時四十分首相官邸に到り大隈首相と會見工場法實施に關し協議を爲し其の結果終に延期の事に決したるが其の延期々間に就ては猶今後の協議に俟つことゝせりと(東京特電)

守衛長陞格公示

樞密院の諮詢を經し貴衆兩院守衛長を奏任官に陞格特別任用の件は二十九日官報を以て公示されたり(東京特電)

ガリエニ氏逝く

佛國前陸相ガリエニ氏は逝去せり(倫敦電報)

外務官吏任命

二十九日外務官吏任命辭令左の如く發表さる(東京特電)

公使館一等書記官 命暹羅在勤 岩崎三雄
公使館二等書記官 命瑞典在勤 井田守三

瑞西歸朝談

各交戰國事情

一昨年八月日獨開戰の際獨逸にて投獄され十月放免され瑞西に至り醫學研究中の田澤醫學士は二十九日商船臺南丸にて大連經由歸朝午後七時十分東上せるが其談に曰く瑞西は嚴正中立にて協商同盟兩方面の事情を知るに最も好位置なれば各國人多數入込み居り我邦の將校も少からず滯在し各自大に活動し居れり過般倫敦タイムス記者は密偵と誤られ投獄されし事あり獨逸は開戰當時より食物の儉約を爲せし故今日缺乏に至らざるも猶食料は一定の量に限られあれば獨逸富豪は自由の食事を爲すべき爲め瑞西に來る者頻々たり歸途英國に於ても今後食料缺乏を豫期し今日之が豫防法を講ずべきを聞け尚ほ途中佛英諸國にても旅行には何等の困難なかりし(門司特電)

北鮮より

▲琿春豆油界活況 客年露國政府が輸入品に對[illegible]にて豚品を歐米へ再輸出を企圖せしも[illegible]れしより俄然同方面への需要を喚起せしが漸次活路を開き[illegible]的輸出を[illegible]定せざれ共以前は琿春全體を通じて一日に七八拾鑵を蒐集すること困難とせしもの昨今にては三四十鑵の輸出[illegible]

▲輸入の趨勢 本年解氷後本月十五日迄琿春材の鮮地輸入は七百七十六本價格二千八[illegible]るに今後[illegible]期[illegible]に伴ひ盛況を極めん因に昨今琿春材の相場は紅松一本[illegible]

[illegible]襲來したるものか三頭共咬み殺されたるが昨年來までは猛獸の被害ありたるも今年に至り猛虎の出沒ありし[illegible]

[illegible]縣面中湍洞光元事金[illegible](二八)は四月二十五日居宅附近にて畑仕事中[illegible]適なる元山龍洞の金演棟なる者が[illegible]金演棟を殴りつけし爲め演棟は氣管支炎及び急性肺炎を惹起するに至り[illegible]

[illegible]華山面上虎里北質事[illegible](三十)及び京共奎の二人は昨年陰十一月九日四時頃共謀して江東に通ずる高内峠に於て江東市歸りの商人より金員を强[illegible]

鮮銀手形と滿洲

朝鮮銀行が今回滿洲に限り發行流通せしめんとする十錢、二十錢、五十錢の一覽拂手形について當地某金融業者の語る所を聞くに此の小額一覽拂手形は主として在滿支那人のために發行せらるゝものなるべく而して今や滿洲支那人の多くは信用ある銀行の銀券又は手形に對して其の便宜を認め之を使用するもの漸次增加し現に奧地における鮮銀紙幣の流通年と共に增大し來れる有樣なれば多種多樣の通貨使用せられ且その支拂の小刻みなる支那人間には此種小額一覽拂手形の歡迎せらるべきは言を待たず併しそれ丈け日本の各種補助貨幣に影響し其の流通範圍を狹めらるゝ事となるべきも三十萬圓位の發行ならば左しての影響なかるべし關東州内において其の住民の多數は支那人なるを以て日常の小取引に此種小額一覽拂手形が流通上便宜なりとして歡迎せらるゝこと亦明かなるこ共に彼の小洋錢の如き自然その流通範圍を縮少せられ或は全く之を驅逐し得るの望なしとせず隨つて滿洲の通貨整理上多少の效果あるを疑はず但し銀價の比較的猶ほ高値を保てる今日に於て其の流通範圍を擴大せんことは困難なるべし日本人に至りては五十錢手形は兎に角十錢乃至二十錢の手形は餘り使用せられざるべきも支那人との取引關係より是亦た相當に使用せらるゝ望あらんと(大連)

天候と農作物

昨今の天候が一般農作物に對し降雨量多きに過ぎしために作物の徒長を來し今後の天候如何によりては多少の懸念なき能はざるは既報の如くなるが何ほ本年は例年に比し著しく植物の成長するものあり就中松、白楊、アカシヤ等の如きは一尺前後の成長を爲し居れる箇所少からず右に就き某山林技師の談に本年の植物成長は近來稀れに見るの現象にて各人何れも之を喜び居れど樹枝の徒長も亦農作物と同樣餘りに樂觀す可きものにあらずして若し一度强風等に遭はゞ樹枝の損傷すること到底成長によつて得たる利益よりも甚しきものありと

雄基線の延長

西水羅に定期船を寄す

咸鏡北道の西水羅港は豆滿江口に位し北朝鮮の北端にあり江流を隔てゝ露領に接し居れるが最近迄定期船の發著なき爲め同地の不便甚しかりしも恰も上流にて營林廠の豆滿江材伐出の盛んとなり其の流下の量を增したると海産物の漁獲少なからざるに至りしを以て遞信局にては朝鮮郵船に對し元山雄基線の西水羅延長を命令し二十三日より一箇月三回宛航路を延長せしめしが更に朝郵にては自由航路を一箇月三回宛同港に發著せしむる由

地方電氣事業

出願受理の方針

未だ電氣事業の經營を見ざる都市より遞信局に對し電氣營業の開始方許可を申請し居れる向一二にして足らざる樣なるが右に對し當局者は目下大體に於て朝鮮各都市中電氣事業經營の可能なる地は既に殘らず其の事業を開始し現に殘り居れる都市は電氣事業を開始するも採算困難の觀なきに非ず尤も南鮮某々都市の如きは當局にて收支を見積れば漸く數年の後には不充分ながら五六分の配當をなし得る見込みなきに非ず又斯の如き都市は切りに地方民より電氣事業許可の交渉を受くれど民間の一會社が諸種の關係に餘儀なくされ果して當局の見込みの如き經營をなし得るや聊さか疑ひなき能はざるなり故に當局の方針としては各地の出願に對し不許可の指令は與へず姑らく之れを受理し置きて其の都市の發展狀態を見諸般の關係に於て經營十分なりとの見込み附かば其の許可をなすべし某地に於ては電氣事業の競願などゝ問題になり居る趣きなれど未だ競願などゝ騷ぎ立つる程電氣は有利の事業に非ざるべし

奬工會社創立

準備着々進行中

京城に於ける土木業者二十有餘名が聯合して資本金一百萬圓(一株十二圓五十錢二萬株)の會社を組織せんとし既に昨年八月十一日を以て總督の認可を得たる由は當時に既報せし如くなるが同會社は愈長谷川町なる工友倶樂部に創立事務所を設け元京城協贊會事務長たりし三浦氏主として其の創立事務に從事することゝなりたり會社創立に就ては各方面よりの贊助者多く既に發起人に於て七千五百株を引受くる筈にて後一萬一千餘株は朝鮮及び内地にて募集し第一回の拂込金二十五萬圓を以て直ちに事業を開始する豫定なりと會社の認可期限は指令後一箇年間なるを以て創立事務所に於ても目下著々準備に忙殺されたる二十八日は朝鮮及び内地の各有志數十名に對し印刷物を配布したる由にて尚ほ成立の上は當地の某銀行との間にも資金の融通に就て從來個人々々に付て貸付を爲したる工事資金を全部會社の手を通じて貸借關係を結ぶに至る可き默契ありと云ふ

鮮銀券發行週報

五月二十一日より二十七日に至る朝鮮銀行券發行平均高は二千九百五十六萬八千七百五十三圓にして正貨準備平均一千零三十六萬六百八十三圓保證準備平均千九百二十萬八千七十圓なるが發行高は上旬より漸次增加しつゝあり

司直縱談

法官歷訪錄

▲智能犯が殖ゑた

光州地方法院 前田法院長

□人文の發達と犯罪の傾向

▼全州の法院支廳から光州に轉じて早や三年、私が赴任した時は全光州間に三日も費やしたものだが今日では汽車輕鐵自動車と交通機關の整備したる爲め光州より全州を經由して北方公州迄一日程に行けるやうになつた。▼民度も進んだが刑事事件も隨分殖ゑ、殊に智能犯が著しく增加した、何故增加したかの原因は種々あるだらうが、私等は警備の周到な施措、それから物質文明の進歩に伴ひ、人物質慾の長じ盜心を起す事等を擧げたい。▼詐欺も多くなつた、然も其の詐欺の被害者に内地人を多く見る。之等は金錢の貸借、田地の賣買等に發してゐるが、其の事件を細かに調べて見ると被害内地人に調査の疎漏と云ふ點を發見するやうだ。▼民事訴訟の受理も近來仲々多い。商業の進歩、人智の發達を幾分意味してゐるから、必らずしも悲觀しなくてよい。尤も商業が發達したと云つても今日の私の管内全羅南北道では未だ約手が約手で通用するの時期に達せず約手が直ちに貸金證書となる位である。▼唯慘酷な事件は減じました。數年前は强盜と云つても多少意味を含んだ一團があつたけれど、今日では全く其の類の賊徒は跡を絶つた。

▲先づ職を與へよ

平壤地方法院 伊藤檢事正

□社會政策の著眼點

▼平壤地方法院檢事局の管内たる平安南北道も矢張り朝鮮の何處にも見るやうに漸次智能犯は增加し、殺伐な例へば殺人とか性質の良くない强盜とかは減少して行く。それは別として吾輩の觀る所に依れば犯罪者の大部分は今日の糧をも得能はぬ貧民である。彼等は食へぬから餘儀なく横道に外れるのだ。盜まんが爲めの盜賊でなく、喰はんが爲めの盜人である。此の極めて憐むべき貧民を邪道に陷らす前に、相當救濟するのは刑政上より見るも喫緊の問題である。▼救濟の方法は彼等に職を與ふるの外はない。其の職を與ふる機關は國家に依つて作るを最も適好とするが止むを得ずんば地方公共團體の施設に待ちたい。無論累犯者を少なからしむる爲めの免囚保護事業は必要に相違ない。之れには既に色々な計畫も各地に生れてゐる。併し獄舍を出た免囚がパンを得るの途がない爲め免囚保護會で職を與ふるなら、未だ邪道に入らぬ否な將に入らんとする貧民に職を授くるのは當然だ。でないと社會の「喰へない人に對する態度」が獄を出た人に厚く、また純正な窮民に薄く、乃ち不公平となりはせぬか。▼檢事は職權により犯罪者の檢擧に努むるのは勿論だが、其れと同時に犯罪を未然に防ぎ、社會の平和を維持するに相當思ひを馳せねばならぬ此點に於て予は窮民に食ふべく職を與ふる事が免囚保護と共に否な免囚保護以上に必要なりと信ずるものである。

ハ博士の退職

後任はウエルチ博士

朝鮮に於ける北メソヂスト派宣教師の監督ハリス博士は先般同派の總會に出席する爲め歸米したるが其際同博士は老年の故を以て退職すべしとの風評ありしところ此風評は愈々事實となり二十六日當地の或筋に著したる紐育電報によれば同博士の退職と共にオハヨー州ウエズレヤン大學總長ウエルチ博士其後任者に決定したる由、ウエルチ博士は現に北支那に在職せる監督ハッシユフオード博士が十二年前任に逝くに當りウエズレヤン大學總長に任ぜられ爾來其職に在りて德望共に高き人なりといふ猶ほハリス博士は今年末に歸鮮し顧問として宗教界に活動すべしと

司法官招待會

夕刊所報の如く總督府司法部高等官並に關係者發起となり二十九日午後七時より司法官會同の爲め入京中なる司法官一同を花月に招待慰勞宴を開き頗る盛會なりき

三浦公使朝鮮通過

新任瑞西駐在公使三浦彌五郎氏は來月三日東京出發朝鮮を經て任地ベルンに赴任する筈にて途次馬山に立寄り同地在住の母堂に告別したる後七日夕發の急行列車にて長春に向ひ哈爾賓發の西伯利亞急行列車に接續する豫定なる旨當地の某氏へ通知ありたり

臺灣の通信機關

島田遞信局監理課長談

島田遞信局監理課長は渡臺中なりし處數日前歸任したり其の談に曰く視察地は基隆より南部阿猴迄の沿線主要地だつたが何しろ豫想外の暑熱に九十度以上と云ふ酷暑で責められた、臺灣の通信機關は大體に於て

▲内地の制度に則り一二三等郵便局に分ち更に郵便取次所なる簡易なものを設けてゐる取次所は先づ竹で朝鮮に存した郵遞所と同じ格のものと見てよからう、機關の普及は新制度の創始が朝鮮より約十年も早かつたから分布は朝鮮以上に密な樣である、然し朝鮮の方が概して民度は低いけれど通信利用力は臺灣土人よりも巧み且大ではなからうかと思はれる、尤もこれは精細な統計を未だ較べて見ぬから斷言は出來ぬけれど臺灣を一巡しての感はさうである

▲郵便貯金の如き切りに臺灣土人に對して奬勵をしてゐる、何分臺灣は土匪の襲來もあるし色々障碍も少なくない關係もあらうが其の加入者並に金額は人口の比例より見るも朝鮮の方が成績が擧つて居るやうに見ゐる、唯臺灣は幹線鐵道の外輕便鐵道が縱横に敷設してある爲め郵便物遞送等の利便は遙に朝鮮より上のやうだ、更に廳舍及び局舍の如きも朝鮮の狹隘なるに比し比較的堂々たるものがある、且つ局舍等の設備の上に酷暑を凌ぐに必要な施設を加へてある、要之廳舍の新營には餘程費用を投じてあるやうに思つた、それから臺灣と内地間の

▲海底電信線は目下の所二線で此の二線も時々故障を來し全く内地臺灣間の通信杜絶して終ふ事があり僅に臺灣航路就航船舶の無線電信で至急官報などを逆受するに過ぎぬ關係上今一線の增設を必要とすとの聲は臺灣の上下に高く何れ遠からず其の工事に取り掛るであらう、朝鮮と内地間の連絡船は朝夕二回もあるが臺灣と内地間は三日に一度だから此の連絡船の著發は臺灣在住内地人の生命としてゐる、それで連絡船著發に對する郵便物の積み卸しなどは甚だ機敏なもので船が基隆に著く前から郵便物は早く取り卸し正規の連絡列車より一列車早く臺北に送ると云つた風である

人事消息

▲鶴原俊丸男 二十九日夕刻仁川より歸京
▲池上吉次氏(朝鮮輕鐵重役) 入京中の處二十九日夕釜山へ
▲武利三郎(同) 同上
▲鈴木馬左也氏(住友總理事) 二十九日夜京朝鮮ホテルへ
▲小林豊三郎氏(住友銀行員) 同上
▲カルース夫人(英人) 同上
▲ケンゼール夫人(米人) 同上
▲プロチ氏(米人會社員) 同上

最新 俳諧講義錄

□俳句は我が國民文學の精粹にして、本會は本邦唯一の俳諧講習機關也
□俳諧の大家たらんとする者は入會せよ眞に俳人諸君の運命の分岐點也
□目下大特典提供 東京小石川東青柳町
□入會の絶好機也 電話番町三六九六番

大日本俳諧講習會

會則 見本 業書 無料進呈 申込次第

一ヶ年卒業 實業講習錄

十大特色
□學科は實用を眼目とす
□實際役に立ち實力が附く
□講習期間は僅少で濟む
□卒業後は出世が早い
□職業の傍勉强が出來る
□講師は各學校一流の人
□文字は總振假名を用ふ
□說明は平易親切を極む
□程度は中等教育の標準
□賞金賞牌を贈る制度あり

入會好機
□小學校卒業生は如何に方向を定むるか
□商工子弟は何時迄丁稚小僧に甘んずるか
□請ふ學校に行く能はざるものは進んで本會に入れ

講習科目
□商業簿記□銀行簿記□商事要項□商業英語□商業作文□經濟講話□商業數學□珠算□實業讀本□商業實務□商業地理□商品學

會費低廉
講習錄は毎月一日十五日の二回に發送し一ヶ年二十四冊で全部講習を終る
一ヶ月五十錢 三ヶ月一圓四十五錢 半年二圓八十錢 一年五圓五十錢

本會役員
總裁 大隈伯 顧問賛助員は當代一流の人物
副總裁 澁澤男

見本進呈
ハガキにて御申込になれば無代にて
申込所 東京京橋區實業之日本社内 帝國實業講習會

日韓書房 新版報告
加藤咄堂著 縮刷 修養講話 各價一圓 送料八錢
横溝蘇堂著 男女の結合 定價七十五錢 送料八錢
内藤千代子著 縮刷合本 生ひ立ちの記 惜春譜 定價一圓十錢 送料八錢
幸田露伴著 白露紅露 定價五十錢 送料八錢
田山花袋著 合歡の花 定價九十錢 送料八錢
京城本町二丁目 電話一四五・二二七 振替口座朝鮮二二五

…し爲め價格の下落を來し一般銷沈の態に陷りし折柄當時內地阪神地方…今日にては六十餘軒を數ふるに至りたるが一軒の製油類は個々異りて一…日迄の鮮北通過輸入は九萬一千七百十斤價格九千七十九圓なり▲琿春材…もの約一萬本ある伐木材は總て陸南…を使つて本年中に流下すべきものな…

…私二頭は本月十五日夜間自己家屋庭內に繋ぎ居たるに何時しか猛虎の…戒し居れり(群山)

◉蹂まれて斃る 咸南德源郡…

…連呼したる爲め是れ朝鮮の新智上衛…發したる言葉なるより洗淨は憤怒し…法院に控訴したり

◉潜伏中捕はる 全北全州郡…せる所を捕へらる

◉天氣豫報追報 曇り後晴

生番タイヤル族(前方に並べるは男子後方は女子)

生番物語

＝多く數千尺の山腹に住む 獨身者は獸皮を敷いて眠る＝

酒と烟草は一日も無くてはならぬ嗜好品

土地調査局調理課長 工藤壯平氏談

人類の在る處には必ずアルコールを含んだ飲料が有る生蕃も亦この例に洩れず固有の酒が有る酒を釀造する時には近隣から女を集めて來るその集まつた女共が豫め搗へて置いた粟又は米粉の蒸したものを皆な口の中へ含んで嚼み碎いて充分唾液が混つた頃に吐き出すそれを桶の中に容れ其れに等分の水を加へ其の上に生粉を振り掛けて置く斯くして醸した

□酒は其の色黄にして

其の味は聊か酸味を帶びて居る酒は彼等に取つては祭の際に無くて叶はぬ大切なものである又平常は好んで用ひて居るアルコール分は割合に薄く恰度ビール位のものであるとの事である、又烟草は之れを山間の畑に植ゑ葉は陰乾にして採んで用ひて居る之れ亦日常彼等に缺ぐ可からざるものゝ一つである。生蕃の物産は

□樟材及木斛石斛

茯苓等の藥草木、鹿茸、鹿鞭、熊膽、穿山甲等の藥品材料、及鹿、牡鹿、牝鹿、獺、熊等の毛皮及び革皮、苧麻、籐、竹類、木材、食料品としてはバナ、筍、橀柑、胡桃、栗、藷、工作品としては麻布、毛織物、竹籠、木製彫刻の船の玩具、網袋、ヤミ族に限つて作る陶製水瓶、舟の玩具等である、これから

□彼等の家作居住

の狀況を略述しやう前にも一寸述べた通り生蕃の居住地は臺灣島の中央を縱貫する大山脈を挾んで山間部に棲息して居る此の部分には新高、シルビヤ等を始めとし其他一萬尺以上の高山が澤山ある彼等は此の山間のどんな處に居住して居るかと云ふとサイセット族の比較的平地に居るのを除く外何れも大抵千尺以上五千尺以下の山腹に居を構へて居る此の千尺より五千尺の間は樟樹其他の樹木蓊鬱として繁茂し

□二丈もある茅茨

が人家を蔽つて居り從つて狩獵に便利なる位置なるが之れよりも更に彼等に取つて生存上最も緊要なるは外敵の襲來に備へるに利便であるからである家は多く岩壁を負ひ成るべく日當のよい方に面して築造して居る家屋は多く竹又は樹木を掘立てゝ柱とし屋及び壁は萱又は竹を以て作るが所に由つて石盤石を用ひて居る建物は住宅、集會所、穀物倉、物置小屋、作小屋、漁具小屋、獵小屋、鍛冶小屋、家畜小屋である住宅に用ふる

□家屋は存外廣大

して且つ割合に清潔である屋內は土間で其の中央に爐を作つて置く種族に依つて同じくはないが先づ大體の所に當て、ある處は竹を以て一段高く床を拵へてある、ツオー族の多くは蕃社では寢床は外から覗び得られぬ樣に竹襖を以て圍んで居る、家には表口と裏口との外に

□非常口をも設け

て居る家が多い大底住宅は間口二三間より五六間奧行三四間から七八間棟の高さ一丈二三尺位で軒高は四五尺を普通とするツオー族の住家は周圍に八本の柱を立て、上から見ると八角形で鍋の用蓋如うであるがタイヤル族のは四角が普通のやうだ或種族になると屋內を二つに仕切り奧の部分を物置炊事場に當て入口の部分を客室及び寢室に當て、居る又或種族の家屋には中央に大黑柱が在るが此の大黑柱は家中で最も神聖のものとして

□祖先の靈魂は大黑柱

に來て宿つて居るものと信じられて居る又ある種族では夫婦者は屋內に寢るが獨身者は寢臺の上形の寢床の中に寢る事を許されず爐邊に獸皮を敷いて寢る事に成つて居る穀物倉及び物置等は別に屋外に拵へて置く家もあるが家屋の一部分を之れに當て、居る家も少くない中には便所の設備のある蕃社もあるが必ず家の裏手に設けてある(つゞく)

◉讓與露艦坐礁

艦長同時に自殺す

露國軍艦ペレスウエート(讓與軍艦相模)は內部改造の工事を終へ二十三日浦鹽港內に於て試運轉中港口の島嶼に坐礁し引き揚げ作業中なるも拘離礁に至らず右遭難は獨逸派なる艦長が折柄の濃霧を利用して故意に乘り揚げし形跡あり艦長は直ちに自殺せり(東京特電)

◉軍需官五千元拐帶逃走

長春混成旅團騎兵第二聯隊附三等軍需官胡某は過日小洋錢五千餘元の拐帶逃走したるを以て聯隊長は軍隊各界を戒飭して之が捕縛に勉め尙胡某の故郷の親族に人を派して不動產全部を公賣し大洋錢二千餘元を得て歸任せり(長春)

◉滿洲荒しの曲者

四平街の料亭を欺く

去る十九日夜公主嶺料亭花壇に蒙樣の風采賤しからざる三十歲位の男登樓し酒肴を命じ藝者を揚げよとあらゆる贅澤を列べた上大風呂敷を擴げて曰く自分は參謀本部の秘密任務を帶び哈爾賓より當地に來りし者なりと威張り散らすより不審と見て取つた同家では直に警察署に訴へ出でたるが案に違はず無一物の渡り者と判明し大日本主人を頂戴し公主嶺を落ち去りたるが列車中にて車掌を欺き外套を借り受け二十日四平街植半旅館に辿り着き同旅館に入るや急に大きくなり我儘は深山成人と稱する陸軍航空隊の將校じやが秘密任務を帶びて奉天より直に哈爾賓に至り今回陸行して來る途中馬賊にやられたれば當分厄介になるぞとて同家の託送電話を利用して所澤や參謀本部や旅順や法螺に因める名義の處へ電報を打ち同館の上等室に陣取り前を著込み松屋に在る四千錦と飲み倒したるも何れも多少の不審を試みたれば僅かばかりを飲み倒し二十一日夜は旅館主人を欺き五圓を借り受け其を懷中にして四平街に到り遊興して歸らんとせるが勘定を催促され何處から卷揚げて來たか金の指輪を出してこれを預け置くと言ひ出したるも聞き入れねば結局自より借りたる五圓の內三圓を仕拂ひ二十二日午前六時頃烟の如く行衛を晦ましたりと(大連)

□朝鮮に歸農した日本兵の子孫

文祿役の名殘を止めた日本村

龍山の利泰院と深い因緣を有する＝子爵 趙重應氏談

後ろに南山の翠緣を脊負ひ前に旺洋たる漢江を控へた新龍山漢之面の利泰院は文祿の役に從軍した日本兵の一部がそこに居殘り其儘歸農して

▽一の村落を 形作るに至つたと云ふ事は汎く江湖に知られてゐるが其の如何にして今日に至つたかは何等史料の微すべきものがない然し右に付趙子爵は私の家と利泰院の一部落との間には深い因緣が結ばれてゐると前置きして語る、私の

▽八代の傍祖 趙泰億と云ふのは德川時代屢々日本に朝使として往來し當時の碩儒新井白石とも親交あり詩文の應酬も尠からず殊に「白石詩草」に序文をも書いてゐる位である、此程偶然にも貴族の阿部無佛氏より白石詩草を寄贈され私は實に祖先の聲咳に親しく接する程の嬉しさを感じ

▽永く家寶と して子々孫々に傳ふる事としました、それは偖て置き傍祖渡日の使命の一は文祿の役に日本に捕虜となりし鮮人送還問題に在りましたが何分歲月も既に流れてゐる事とて捕虜の面々も日本の各地に分散土著して其歸國を喜ばぬ所より結局日韓兩當局者の間に申合が出來て既に日本にゐる

▽鮮人の俘虜 を送還せね代りに朝鮮の各地に殘つて歸農して居る日本の兵士の子孫に相當撫綏の手段を執つて呉れと云ふに一致したので其の縁故により趙家では私の親の時まで代々利泰院に殘つて歸農した日本兵士の一部落に對し出來得る限りの世話をして居たが、私の代に入つて私は御承知の如く政變に際會し或は遠島に謫居し或は內地に亡命し

▽久しく流轉 してゐたので行はれねばならぬ利泰院部落の世話も思ひに任せなかつたが其後は微力の能ふ丈け部落の爲めに世話役を勤めて居る現に先年私が主となり利泰院の北氷庫に學校を建設せしめたのです、又同部落の世話に就ては軍司令部所在地と云ふ關係上軍司令官にも微意を陳述した事もあつたが在住內地人諸賢に對しても何分利泰院に同情と注意を希望する次第である(了)

◉鐵道對高商庭球戰

鐵道倶樂部庭球部にては二十八日午前十時より修學旅行の途次京城に立寄りたる山口高商庭球選手を迎へ龍山官舍中央地コートに於いて早大出身の岡部山口高商出身の熊丸兩氏審判の下に試合を開始せり同旅行團は滿洲各地に於いて滿鐵側と戰ひ全戰せる最強チームにて興味ある對戰なりし事とて來觀者頗る多く試合の結果は高商側よく戰ひたるも遂に鐵道軍の勝となれりその成績左の如し

山口高商 鐵道軍 [illegible]

◉十三年前を偲ばしむ

▲金州南山の招魂祭

忠魂義魄の鎭坐を祀れる金州南山招魂祭は二十六日午前十一時より同忠魂碑前にて舉行されたり [illegible] …山攻略の實戰講話をなし感激せしめたり(大連)

◉狗も喰はぬ狗當歸

形は人參に似て

全南光州郡無等山にて過般鮮人二名が毒草を食ひ悶死したる事は既報の如くなるが右は鮮語にて狗當歸と稱し狗でさへ此れに逢着すれば直ちに踵を廻らして歸ると傳へられしものにして根は薄白色を帶び形は人參に類し莖は芋に似て嚙んで甘酸を覺わず目下其の毒草に就ては光州慈惠醫院にて分析中なりと

◉乘馬倶樂部講話會

京城乘馬倶樂部にては毎月第二第四の日曜日午前七時より八時の間を期し馬術練習會を催し猶ほ朝餐の後馬及び乘馬に關する各種の講話會を試むべく去る廿八日は第一回の講話會として憲兵隊渡邊一等獸醫の「馬の重心と乘馬との關係に就いて」と題する一席の講演あり席上小松、鈴木、關屋氏外二十餘名の出席者ありて盛會なりき

◉鬪々しい兩班

京城黃金町三丁目兩班代書業事務員金知煥(三八)は長橋町韓亮鎬より現金一萬圓の借入周旋を頼まれ其の運動費の名義の下に同人より三百四十七圓を橫領消費したる爲め鍾路署にて取調べを受けたる上檢事局に送られたり

◉贓品を賣却す

住所不定の鄭相龍(二七)は五月十七日午後三時頃京城本町四丁目中野某方より麻裏草履及び其原料(三圓五十錢)を竊取し花園町本田某に賣却して本町署に引致さる

◉物置で縊死

京城黃金町三丁目古物商坂東某內縁の妻田中うめ(四九)は二十九日午前六時頃自宅裏の物置小舍に縊死し居るを家人が發見し急報に依り本町署より係官警察醫出張檢視せしが既に縊切れ居り死體は夫に引渡したり原因目下取調中

◉牛肉商へ訓示

京城本町警察署にては二十九日午後一時より管內居住の朝鮮人牛肉商約百名を同署に召集し衞生係より一般夏季衞生上の注意、肉類運搬車の改造方、骨箱の新設等に就て訓示する所ありたり

◉高女校の講話

京城高等女學校にては卅日午後零時卅分前田慧雲師を招き婦人修養に關する一場の講話を請ふ由因に當日は同校卒業生の參聽を歡迎すと

◉青年の擊劍會

京城居住の青年及び店員等の風紀矯正武士道獎勵の意味に於て府內重立ちたる銀行會社員等指導の下に擊劍及び柔道を修練する事となり六月上旬より是れを開始する筈なるが練習場として本町署にては同構內演武場を公開し毎日夜間二時間位宛提供する由此際該演武出席希望者は同署內へ申込むべし

◉新券番披露會

京城券番より分離せる新券番にては二十八日午後一時より旭町萬千閣に盛んなる披露宴會を催し藝妓の手踊りその他の餘興十數番あり頗る盛況にて關係者二百餘名の出席ありたり

◉新番附の豫想

當ればお慰さみ

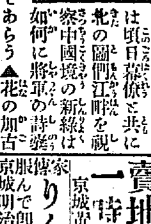
本場所が濟んで直ちに協會で編成される一月場所の新番附を豫想して作つて見ると大より單に星取表丈を根據としたもので隆星だの八百長角力に對する制裁などはトンと判らない、氣紛れに試みたいたづらがうまく適中すればお慰さみである、豫想番附中多少疑點を止めて置きたいのは西の海の正横綱と新東方では眞砂石の張出小結である

新東の方 橫綱 鳳 大關 伊勢濱 橫綱 太刀山 大關 朝潮 關脇 大戸平 小結 玉手山 前頭 黑瀨川 同 石山 同 浦ノ濱 同 鶴渡 同 大蛇潟 同 大鳴門 同 千年川 同 紅葉川 同 寒玉子 同 土州山 同 敷ヶ島 同 翠ヶ浦 同 鳴門洋 同 柏戸 同 八甲山 同 藤ノ川 同 駒泉 小結 眞砂石

舊東の方 西の海 大錦 對馬洋 栃木山 兩國 九州山 源氏山 宇都宮 釋迦嶽 紫雲龍 小常陸 近江富士 若木山 大の川 宮城山 梅川 朝綠 稻葉嶽 四海波 龍ヶ崎 玉の川 逆鉾 綾川

新西の方 大關 栃木山 橫綱 西の海 大關 大錦 關脇 對馬洋 小結 兩國 前頭 九州山 同 宇都宮 同 小常陸 同 綾川 同 源氏山 同 大の川 同 梅ノ木山 同 岩木山 同 宮城山 同 千葉崎 同 一山 同 釋迦嶽 同 四海波 同 逆鉾 同 紫雲龍 同 近江富士 同 大門岩 前頭 龍ヶ崎

舊西の方 鳳 太刀山 伊勢濱 大蛇潟 浦ノ濱 石山 大鳴門 玉手山 八甲山 鳴門川 鶴渡 大戸平 黑瀨川 寒玉子 眞砂石 千年川 土州山 稻の川 紅葉川 明 柏戸 敷島 朝潮



立花第十九師團長は頃日恭儀と共に北の圖們江畔を視察中國境の新綠は如何に將軍の詩を發かしめたであらう▲花の加古川から來た人のはなしによれば頃日は新綠の天下、靜かな初夏の日永をカッポー〳〵と鳥がなくばかり…花は昨日のやうに思はれるにこと▲元山から北に向つて進む咸鏡線鐵道は來る八月末には永興まで開通する▲東海岸では昨今鯖の大漁が頻りにあがる相場は上氣配にて一尾三錢五厘位ゐと▲朝鮮植物のオーソリチーたる中井猛之進博士は今夏金剛山の植物調査を始める相な▲釜山の風流家は去る廿八日東萊溫泉に內地の螢を放つて樂しむだ京城は滿涼里の螢が六月頃から飛初める鮮語でパンヂブリの螢は北の方では八九月頃まで飛んで居る

京日案內

普通 一回前金三十錢無割引(匿名一回毎に金五錢増)
番外 一回前金六十錢無割引(匿名一回毎に金五錢増)
▼申込後中途掲載中止の節は料金返戻せず

普通

◉外務員募集 月俸三十圓他に歩合給す 最好美職希望者履歴書携帯來談 京城觀水洞一五五 三成洋行 307

◉社員募集 身元確實市內に保證ある者外交員として至急採用履歴書携帯本人來談 朝鮮公論社 308

▼建築木製圖測量工業書色々と取揃有 木町二電二五二七◉ウツボヤ書店 158

病院並地方患家の付添及看護婦派遣に應ず 朝日看護婦會 京城櫻井町二ノ一九一電二五三三番 311

◉古本なら野村 買入誠實御報参上 京城本町一丁目(明治町筋)電二六三六番 野村書店 142

◉明治町フランス教會正門前 ◉電話二五九五番 ▲ホテツギ▲うちみくじき治療 荒川仁壽堂 180

◉古本高價買入 弊堂の勉强是非御試賣を乞ふ御報即刻參上▲京城本町四 電話一七八一番 書肆 群書堂 199

昆虫及植物採集用具特價販賣 京城壽町四〇 電話二三七六 同文堂教育品部 421

雜誌巡廻讀會 新古圖書雜誌 ▲交換 ▲割引 ▲買入 京城本町一 松井 松榮堂 電一三七八 492

◉貸家 鍾路警察署横仁寺洞二五 日本建官吏會社員向家賃格安 使用の便あり 電話二四三六 井村 488

番外

荒物食料 雜貨 京城黃金町二丁目水標橋通入 前記へ移轉諸品取揃へ勉强仕候 電話二八番 井上商會 36

小兒科 內科 大和町一丁目(日の出橋下る) 爲春堂醫院(電話九一八番) 院主 古城俶吉 191

京城永樂町一商品陳列館坂の上 皮膚病 花柳病 專門 須古醫院 電話三三〇番 196

京城太平通二ノ一三三五 礦物定量分析 坂元分析所 電話一三四四番 416

申込次第入院規則書送 南山町二ノ三十五△電話取次一三三九 姙婦產婦 御預り 御分娩 京城產養院 ▲經費僅少 産婆安全出來 419

賣地 及 一時貸地 南大門通漢湖農工銀行隣三十坪餘 京城黃金町二丁目 電話一〇一五番 喜多金光堂 433

家傳 りん病三日藥 服んで即日効驗ある不思議の妙藥 京城明治町二丁目四二明治旅館 朝鮮發賣元(電二〇三五) 全治三日 473

▲玄米乳 類似の名称を附したる不良品あり御用心 ◉東京化學研究所指定店は京城龍山に本舍一ヶ所とす 北米倉町 玄米乳製造元 電四五一七 494

▲鴨綠江天然氷 販賣 ▲御注文は電話にて迅速配達致します 明治町二丁目 石田牛肉店 電一〇四二番 309

代診 生及 藥劑師入用 市內に確實なる保證人を要す希望者は履歴書携帯午後來院ありたし 京城壽町 島崎病院 310

恩給年金類 長期特別契約 短期契約 約四年間迄無保險にて低利立替仕候 京城南大門外(電)御成町 山口屋 190

佐賀縣人 太島文八 三十四歲 は當て地方出張中領收書類等携帶行衛不明となりし不都合の男に付廣告す 花園町一二三 帝國圖書普及會支部 312

商業登記公告

株式會社漢湖農工銀行鐵原支店登記 大正五年五月貳拾日第四回社債金貳拾萬圓ヲ償還シ社債ノ金額ヲ償還シタリ 右大正五年五月貳拾五日登記 京城地方法院鐵原支廳

株式會社漢湖農工銀行春川支店登記 事項中變更 大正五年五月貳拾日第四回社債金貳拾萬圓ヲ償還シ社債ノ全部ヲ償還 右大正五年五月貳拾六日登記 京城地方法院春川支廳

最上 鶴 醤油 京城府龍山元町 關西商會釀造所 電話三十九番 振替口座京城七三九番

讀物を見る顯微鏡及マグネット着 三浦天龍堂眼鏡部 京城本町二 電話一〇〇二 振替三〇四

六月一日より五日間 浴衣地大賣出し 流行品豐富に取揃居候其他見切品澤山 京城本町 丸一吳服店 電 六三五 一〇九一

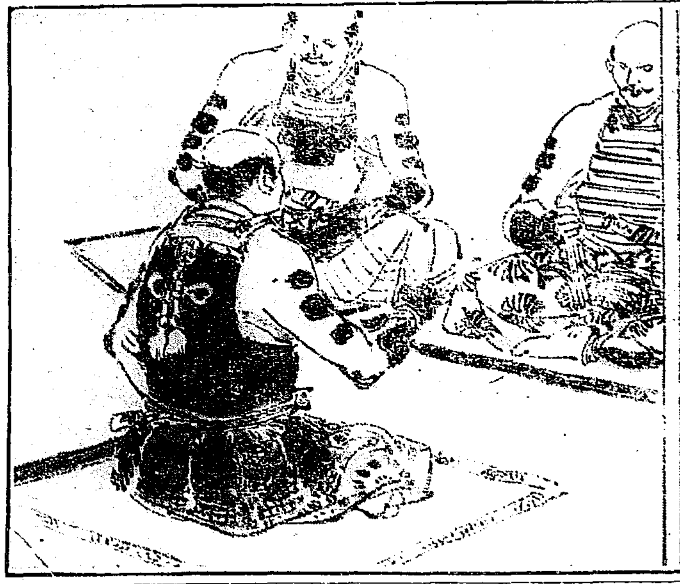
特典數種!入會金全免◉短期卒業□ 繪畫 肉筆通信教授 今すぐ申込給へ見本進呈郵税二錢要 東京下谷西町三 繪畫講習會

千生瓢 (227)

須藤南翠作 筒井年峰畫

瑞龍寺 (五)

人を視る眼力の鋭い事は、當時秀吉の右に出づるものはなかつた。本多平八郎忠勝が、死を決しての行動を看破して、其健氣なる志を憐れみ、之に對つて一矢、一丸を禁じた上、他日縱を求めて、吾が麾下に屬せしめようといふ大望を抱いたのに、老功無二の稲葉一鐵入道をして深く感嘆せしめたのであつた。この大海の如き洪量には、忠勝は



知つて雄志を挫かれた事と思はれる初め秀吉大軍を率ゐて、樂田を進發し、長湫に馳せ向ふよしの、小牧山に知れた時、留守の諸將は直ちに評議を開いたのであつた。其時酒井左衛門尉忠次は、一策を建て、

「今朝より戰ひ勞れた御方の、此の新手の大軍に驅け合せて、戰する事は極めて大事おざる。我等の存ずるには、留守の料として、樂田の陣を打破り、火を放つて燒き立てやう程ならば、秀吉も其煙を望んで、我が陣また破られつらんと驚いて、はかばかしい軍はよも爲られまい。其虚に乘じて前後より擊ち立つるに於ては、定めて勝軍仕らんと覺ゆるは如何に」と、底力のある聲で說き立てた

斯くと聞いた執政の一人、石川伯耆守數正は、色を變じて狼狽したやうであつたが、忽ち平然として諸將を見廻した。本田平八郎忠勝、石川長門守康通以下、諸將孰れも忠次の建策に贊同して、一議に及ばず決さうとした。

「いや〳〵其謀、妙なるやうなれど敵を侮つた無謀の策おざるよ」と、數正が反對した。

今度の戰ひ起つてから、忠次は數正の擧動に付き、合點行かずと思つてゐた處に、此必勝萬全の策に對して、無謀と貶すのを耳にするや憤然として詰め寄つた。

「無謀とは聞き棄てならぬ。其所謂承はらう」

「勿論申すでおらう。其次第は、筑前殿の軍勢三萬餘騎とある。さらば先手の人數を三萬としてが、戰ひに向ふ人數は、總軍勢の半數おざる。さすれば尚ほ六萬の大軍、其々の陣所を堅固に護り居るは必定。其處へ對つて僅四五千の勢を以て、燒討をかけようとも、事成就致さうとは存じ寄らぬ。其故に無謀の策と申したのぢや」

數正は瓢香涼しく說き破る。忠次は呵々と笑つて、

「智謀を運らして燒き立つるに、何とて兵の多寡を問はう。多ければ多き程、騷ぎ立つては、容易に鎮るものではない。一旦敵を騷がした上は第二、第三と、其々の謀おざる」と言下にまた說き破る。

數正も其まゝでは已まなかつた。

「左衛門殿の軍配は、我等も常々感じ申す處。それを秘ふではおざらぬが、我等は御本陣を預けられて、留守致せこそ承はれ。進んで戰ふこの御諚は受け申さぬ。むやに依つて此儀は然るべう存せられぬ」

數正が御諚を楯に逃るれば、忠次はまた夫を破つて、甲論乙駁、長詮議いつ果つるとも見ゑないので、本多平八郎忠勝、一座に會釋して、

「御評議を破るのではおざらぬが、今朝よりの合戰に、御軍勢嘸かし勞れた事と存じ申す。いで忠勝馳せ向つて、御先を懸け申す。手勢の半は御留守に留め置きまする程に、然るべく御指圖賴み入る」と言ひ棄てゝ、席を蹴つて立ち出づる。

石川長門守康通も、續いて座を退き、

「本多殿手勢半分にて、御先き懸けらるゝ上は、我等も半數を率ゐて、其後に續き申す。いざさらば方々」と會釋して、後れはせじと馳せ出だし

今は本陣手薄になつたので、忠次も遺憾ながら、必勝の策を空しく抛つて、本陣の守備を堅固にしたのであつた。

忠勝と康通とは、斯うして秀吉の中軍に押並び、折々鐵砲を放ちかけて、頻りに戰ひを挑みながら、川の南を押して行き、既に三里を進んだ處にて、俄然其途を轉じて、小幡城に引き入つたのである。

小幡城には、北畠信雄、徳川家康の兩大將軍を始め、堀の爲に驅け散らされた柳原康政、大須賀康高、水野忠重、勝成を始め、先陣後陣の大將、皆相詰めてゐた。

忠勝は秀吉の瑞龍寺の觀音堂に宿陣した事を知つて、直樣人を遣はして、其陣の取りやうを探らした。二人、三人、遂に六人まで出して、事落ちもなく聞き取つた上、水野忠重と共に、家康の御前に出た。

金庫 ポンプ 消火器
京城本町二丁目 熊平支店
電話長六二四番 振替京城二三七

義州より 芳宙

義州の町の背面に聳ゆ、鴨綠江に裾を落して居る統軍亭を中心として居る其一帶の山を公園にする計畫で目下加工中です經費は一萬圓だと云ふ

新刊紹介

▲修道講話 [illegible]

▲無一物處 [illegible]

▲戰時の獨逸國民 [illegible]

▲講談落語界 五の六 [illegible]

▲雄辯 六月號 [illegible]

◉蚊帳と夏蒲團

[illegible]

法人登記公告

驪州地方金融組合長大正五年五月八日京畿道驪州郡州内面倉里田泓俊選擧同月貳拾參日就任

右大正五年五月貳拾六日登記

京城地方法院驪州支廳

大阪株式特電 (商況) [illegible]

下關期米特電 [illegible]

▲月末戰如何 [illegible]

御園白粉

何方の奧樣も令孃も一樣に御園白粉を愛用なさるのは、他の何づれの白粉よりもノリごノビが遙かに好く、誰方の皮膚にも濃くも薄くも思ひのまゝに附き、塗けて極めて高尚に見ゑ、殊に平生れ用ひになれば皮膚を整ね肌理を細かに滑らかにし、お顏の色艷を增す點に至つては到底他の白粉の比でないからです。

製造本舖 伊東胡蝶園

發賣元 丸見屋商店

(96)

法學博士 上杉愼吉先生著

帝國憲法述義

菊判全一冊 上製正價金貳圓八拾錢 並製正價金貳圓五拾錢 送料(内地金十二錢 鮮支金四十二錢)

本書は博士の名著として江湖に高評を博し發賣以來版を重ぬると六度遂に齊賑賣切絶版となり爾來訂正增補中の所今回全部改版幾多の修正と增補とに依り面目一新し殆ど新著の觀あり總紙數六百餘頁となる

東京神田一ツ橋 有斐閣 振替三七〇番

文學博士 前田慧雲先生著

訂正增補 佛教思想講話

天地悠久。無始より永遠に人生として[illegible]

菊版約四百頁箱入美本 價壹圓五拾錢 送料拾貳錢

東京本郷一ノ大通 發兌 日東堂 電話下谷四三六 振替東京一二五五八

新刊

タングステン

用手鎢鑛機及大マグネット中根式鑛山機械は始政五週年記念物産共進會に於て賞牌一褒狀三を授與され朝鮮唯一の鐵工界に於ける最初の受賞者たるの光榮を得

京城南大門通五 中根商會 電話一〇四番

新刊書御案内

書名	著者	定價
趣味之日本史	新保磐次	一、八〇
九州の現在及將來	黒龍の世界社	三、五〇
獨逸軍國主義	吉野作造	一、五〇
日支關係條約總覽	石山福治	一、〇〇
臺灣殖民發達史	東鄕實	一、四〇
臺灣警察要論	石川忠一	一、八〇
住宅運命大觀	北田徳次郎	一、九〇
我が一代運命鑑	阿和水哉	三、〇〇
株式相場成敗論	小林麗平	一、八五
野菜	今村猛雄	一、五〇
織物製造法	八木静一郎	一、〇〇
優生學	齋藤茂三郎	一、四〇
現代名歌選	橋田東聲	一、二〇
のざぼさけ	久世勇三	八五
妻婦曆	邦枝完二	九五
グリム伽噺	中島孤島譯	七五
アラビヤンナイト	杉谷代水譯	二、二〇
最新海記提要	古舘市太郎	三、八〇
哲學概論	紀平正美	一、一〇
男讀むへからず	丹いね子	一、五〇
男女の結合	横瀬夜雨	七五

京城本町 大阪屋號書店 電話二〇八六 振替京城二〇七三番

わきが
にて今迄彼是と藥を用ひ効なき方はファーザー藥價三十錢六十錢を一度お使用あれ一圓注文は前金の事郵送料不要
京城黄金町三丁目 山田文殊堂藥房

金泉醴泉間自動車時間

上り 金泉發前 [illegible] 商州 [illegible] 醴泉著後 [illegible]
下り 醴泉發前 [illegible] 商州 [illegible] 金泉著後 [illegible]

▲小荷物運搬仕り候

金泉織居自動車支部 金泉電話四八番

日本郵船仁川出帆

○相模丸 大連、太沽、牛莊行 六月四日 正午出帆
高砂丸 六月十二日 正午出帆
三河丸 六月廿四日 正午出帆

仁川海岸町二丁目 電話十一番 堀回漕部

大阪商船仁川出帆

○外航所關航路(臨時航路を除く)は五分前を以て乘船切符賣止仕候

航路	船名	日時
×大連	大智丸	六月八日 後五時出
○群山、木浦、釜山、關門、神戸、大阪行	木浦丸	五月卅一日
×天津	智丸	五月廿九日 後二時出
×安東	丸	六月五日
○木浦、釜山、嚴原、鄕の浦、長崎行	信濃丸	五月廿九日 後二時出
×	信濃川丸	六月十六日
○鎭南浦、大連行	信濃丸	六月廿九日 後二時出
×	信濃川丸	六月十一日
○大連直行		
×福州	潮州丸	六月八日 正午出帆
△群山、釜山、横濱行		六月十七日
○潮州	潮州丸	六月十三日 後二時出
△福州	福州丸	五月三十日
×清津、浦潮行(元山出帆) 城津、西湖津、ニ寄港浦潮不寄港		
○安平	平丸	六月八日 後二時出
▲安平	平丸	六月十四日
○上海、基隆、打狗行(大連出帆)	北丸	六月十七日 後四時出
▲湖北	湖北丸	六月六日

御注意 ○朝鮮鐵道及南滿洲鐵道會社との聯絡切符發賣仕候 ○御乘船客は本船出帆約一時間前に御乘込下され度候 ○×印は一等客御斷り△印は船客御斷り

切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話二番・二二番
京城切符發賣所 内國通運會社 電話七〇八番
▲中國四國諸港行船客に對し割引乘船切符發賣仕候

朝鮮郵船仁川出帆

船名	航路	日時	發地
○金剛丸		六月十一日	釜山發
○京畿丸		六月五日	
○黄海丸		六月十五日	
○成鏡丸	門司より發山各港寄港雄基間航路		
○鏡城丸		六月二日	元山發
○昌平丸		五月卅一日	
○鏡城丸	元山より各港經由雄基行	五月十五日	
○忠淸丸		六月一日	元山發
○平壤丸	城津浦潮航路復航 釜山より門司又は長崎行	六月十二日	
○永興丸	井久味、五里浦行	毎月廿八回	元山發
○盈德丸	甘浦、九龍里、浦項、各港寄港鬱陵島行	五月三十日	釜山發
○江陵丸		毎	釜山、浦項發
○漢陽丸	長生浦方魚津寄港	日	
○三浦丸	長承浦、統營、巨文島、濟州島各寄港	五月廿九日	釜山發
○海州丸、統營丸、巨濟丸、慶寶丸	各港經由木浦行	毎日	釜山發
○順天丸	各港經由麗水行 (三日目毎一回木浦行)	三日目毎ニ	木浦發
○慶興丸	各港經由濟州島行西廻	五月 日	木浦發
○公州丸	南多島海經島行(月三回)	六月四日	木浦發
○公州丸	各港經由濟州島行東廻	五月三十日	木浦發
○宗信丸	海州龍各港寄港德洞又は白翎島行	五月 日	仁川發
○江原丸	南京、大津、芝罘行	五月 日	仁川發
○麗水丸、晉州丸		六月一日、五日	仁川發
○錦江丸、南陽丸	各港經由木浦行	毎日午前	仁川發
○平安丸	大黒山、木浦、門司、若松行 往航	五月 日	群山發
	門司、木浦、群山行 復航	六月一日	若松發

本社 電話長一九五二番二二二三番 京城南大門驛前 取次店 松原運送店(電話長一七〇番)

阿波共同汽船仁川出帆

○芝罘、大連行 第三共同丸 五月廿七日入港 五月卅一日出帆
○城津、淸津、浦鹽行 第一阪鶴丸 月 日後九時出(元山出帆)
○西湖津沿岸各港を經て雄基行 第三共同丸 月 日前八時出

仁川代理店 阿波國共同汽船株式會社
元山代理店 山下回漕部
京城取次店 河村運送店

汽船釜山出帆廣告

○立神丸 門司、神戸、大阪行 五月廿三日後五時出帆
○立神丸 元山、淸津、浦鹽行 五月 日後十時出帆
○小倉丸 門司、神戸、大阪行 五月 日後五時出帆
○元山丸 城津、淸津、浦鹽行 五月 日後十時出帆
○小倉丸 元山、西湖、新浦、城津、淸津行 五月 日後六時出帆
○第三翠平丸 門司、宇品、神戸、大阪行 五月 日後六時出帆
○天兵丸 住須奈、嚴原、壹岐、博多行 毎月二日九日十四日廿一日廿六日 午後十時出帆

釜山埠頭立新町 本船取扱店 大池回漕部

尼崎汽船仁川出帆

○大正丸 群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行 五月廿九日後四時出帆
○大有丸 五月三日後四時出帆
○神代丸 六月 日後四時出帆
○吉丸 五月 日後五時出帆
○秀丸 五月 日後五時出帆
○君が代丸

仁川海岸通一丁目 電話五十九番 高杉回漕部